

【主催】熱塩加納未来会議

公益財団法人リバーフロント研究所 / 「小さな自然再生」研究会

【共催】高郷ほんそん未来プロジェクト / こまがた元気会（雄国山麓ゆめクラブ）

【後援】喜多方市 / 福島民友新聞社

「小さな自然再生」現地研修会（第32回）開催報告

2026年7月11日（土）福島県喜多方市・熱塩加納



座学研修



鷺田ビオトープ



高郷ほんそんの棚田



駒形 南原堤

 公益財団法人
リバーフロント研究所

2026年10月

「小さな自然再生」現地研修会（第32回）

開催報告

2026年7月11日（土）福島県喜多方市・熱塩加納

はじめに

福島県喜多方市熱塩加納とその周辺において、「地域活性化に向けた水辺の生物多様性向上の取組」をテーマに、専門家の座学講義とともに、会津の3つのビオトープや水辺活動拠点（鷺田ビオトープ、高郷ほんそんの棚田ビオトープ、駒形 南原堤）を巡りながら、ビオトープでつなぐ生物多様性の向上と地域活性化のためにできるアイデアを深めました。

この開催報告は、研修会の参加者とともに学び議論した内容の一部を、当日の写真を中心に皆様にご紹介するものです。

本研修会にご参加、またご協力いただきました皆様に厚く御礼申し上げます。

2026年10月

公益財団法人リバーフロント研究所

開催概要

- 開催日時：2026 年 7 月 11 日（土） 8：30～17：00
- 開催場所：鷺田多目的集会センター＜福島県喜多方市熱塩加納町＞
- 参加者： 約 60 名
- 主 催： 熱塩加納未来会議、公益財団法人リバーフロント研究所、
「小さな自然再生」研究会
- 共 催： 高郷ほんそん未来プロジェクト、こまがた元気会（雄国山麓ゆめクラブ）
- 後 援： 喜多方市、福島民友新聞社
- 協 賛： 荒川産業「故紙コンテナパーク基金」

プログラム

(8:30～10:45) 開会 および 座学研修

- 開会挨拶： 山本豊、森田正明（熱塩加納未来会議）
- 話題提供 1： 人の営みとともにある生物多様性をめざして 近自然工法の事例紹介
（西山穂：株式会社 ナツル ナヘル ラントシャフト 代表）
- 話題提供 2： 里山の潜在価値を引き出し、分かち合う仕組みづくりで社会を豊かにする
ビオ田んぼプロジェクト
（太刀川晴之：株式会社エーゼログループ 研究員）
- 話題提供 3： 植物群落の視点からみた湿地ビオトープ および 在来植生を用いたフラワ
ーツーリズムの事例紹介
（鈴木敏弘：いであ株式会社 主席）

(10:45～11:40) 鷺田ビオトープでできることを考える

(11:40～13:00) 昼食 および 移動

(13:00～14:15) ほんそんの棚田ビオトープでできることを考える

(14:15～15:15) 移動

(15:15～16:10) 駒形 南原堤でできることを考える

(16:10～17:00) 移動 および 振り返り

(17:00) 閉会

開会挨拶



主催・共催者を代表して、熱塩加納未来会議の山本会長および森田さんより、今回の開催経緯を含む研修会の趣旨説明を行いました。

座学研修



人の営みとともにある生物多様性をめざして 近自然工法の事例紹介 (西山穂：株式会社 ナツル ナヘル ラントシャフト 代表)

- 若草幼稚園「すくすくの森」の概要と里山教育について
- 体験教育の意義と里山保全の意義
- 通潤用水下井手水路の改修について

⇒ 講演資料は巻末「参考資料」を参照



里山の潜在価値を引き出し、分かち合う仕組みづくりで社会を豊かにする

バイオ田んぼプロジェクト

（太刀川晴之：株式会社エーゼログループ 研究員）

- バイオ田んぼプロジェクトの狙い（人も自然も豊かになる農業）
- バイオ田んぼプロジェクトの特徴や取組
- 自然や生きものへの愛着を育み、田んぼの価値を最大化する仕掛けの工夫
- 中山間地の農業を持続可能にするためにできること

⇒ 講演資料は巻末「参考資料」を参照



植物群落の視点からみた湿地ビオトープ

(鈴木敏弘：いであ株式会社 主席)

- 植物種と植物群落
- 植物群落の成立要因と遷移
- 3つの現場（鷺田、ほんそん、駒形）の植物から見た特徴
- 在来植生を用いたフラワーツーリズムの事例

⇒ 講演資料は巻末「参考資料」を参照



座学会場の受付の様子



座学研修前のトンボ撮影ミニ講座



開会前のアイスブレイク



喜多方市議会・佐原議員よりご挨拶



事務局（佐藤）よりプログラム等の説明



事務局（兒玉）より鷺田ビオトープのトンボ解説

現地視察および実践

テーマ：「地域活性化に向けた水辺の生物多様性向上の取組」

座学では、水辺の生物多様性向上を通じて地域を元気にしていくことを主テーマに、先進的な取組を行う高知と岡山での事例や取組のヒントを学ぶとともに、植物の視点から湿地ビオトープの機能や活用策について話題提供をいただきました。

この座学での学びを踏まえ、現地視察＆実践では、鷺田ビオトープ、高郷ほんそんの棚田ビオトープ、駒形 南原堤の3つの活動拠点を巡り、各現場での生物多様性の向上と地域活性化のためにできることについて参加者で議論を深めました



高郷ほんそんの棚田での集合写真

【鷺田ビオトープでできることを考える】





＜鷺田ビオトープでの主な意見＞

- ◇ 植物の観点から、ショウブの生育を確認した（近傍に生育している外来種キショウブとは植物体を折ったときの香りの有無で差異を現地確認）。こうした多様な植生を生育していくことが望まれる。
- ◇ ワンドの底を攪拌するだけでも、埋土種子からの発芽が期待できる。
- ◇ 現状のクサヨシによる島状の地上部は、思い切って刈り取り、水面に戻すなどの管理をすることで、新たな植生を呼び込めるほか、ローテーションとすることで陸地化を防ぐことができると思われる。
- ◇ 利用の観点からは、セリ鍋にできるセリ、クリの実なども収穫が期待できるため、これらを食用とするのはおもしろい取組と思われる。
- ◇ 隣接するオニグルミ、クリなどからなる林は日陰を形成し、ヒヨドリや大型ヤンマ類の飛翔も見られている。本ビオトープと隣接することにより、自然環境の質に相乗効果が見られていることから、可能なら保全が望まれる。
- ◇ トンボの視点から、植生の管理は植物体内の卵が孵化した後に刈り取りを行うことが望まれる。
- ◇ 少し水深が大きいエリアなどビオトープの中で異なる環境をつくってもよい。
- ◇ 人為的攪乱の影響を見るために、人が入れない場所をつくってもおもしろい。



【ほんそんの棚田ビオトープでできることを考える】





＜ほんそんの棚田ビオトープでの主な意見＞

（１）斜面上の池

- ◇ 斜面上部の池はヒツジグサが生えるなど貧栄養の要素も見られる。
- ◇ 一方で、水面を覆いつくすヒシについては、池の底部が現状で硫黄臭を呈しており、嫌気的環境に近いことから、水生生物にとって若干好ましからざる環境となっている。
- ◇ こうした点を解決する方法として、一部のヒシを除去し、水底まで光を届かせる環境を確保する方法が挙げられる。なお、この方法は浅場が形成されている環境でより有効に効果を発揮する可能性が考えられる。
- ◇ また、試行する際には、糸状緑藻の大量繁茂の可能性など想定外の環境の挙動も考えられるため、まずは小規模に実施し、反応を見ながら順応的な取組を行うことが望まれる。
- ◇ ヒシの増え方は種子から発芽して水面に展葉し、茎を下部に伸長させていくため、植物体を掬い取ることで問題ない。
- ◇ 斜面に向かって左側の池の浅場にはミズオオバコなどの沈水植物も生育しており、浅く水底まで光が届く水底が水中の植物の多様性にも寄与していると考えられる。
- ◇ 上流部の池は斜面と連続しており、成体が山地斜面に生息するクロサンショウウオやヤマアカガエルの生息場としても機能しており、斜面とセットであることから水質も良好で貧栄養なことが当該水域の動植物相に影響している可能性が考えられた。
- ◇ 農薬の混入も考えにくく、斜面下部の水田など、カメムシ防除の農薬散布をすると姿を消すタガメなどが飛来する可能性が考えられることから、産卵場となるような水面から突き出た棒などを立てておき観察してみるのも興味深い。



（２）棚田ビオトープ

- ◇ ビオトープ造成対象の下流側の未利用地は、耕作放棄水田にみられるガマ、イグサを中心とした植生である。
- ◇ 利用の観点からは子どもを含み、来場者が安心できる平らな場所で、日陰がある拠点が複数確保されていることがよい。
- ◇ ウッドデッキなどがあると、利用者がアクセスしやすくなる。
- ◇ 対象地は規模があるため、足を取られない場所や水辺にふれあえる場所などを複数設置することが望ましい。
- ◇ 周辺一面にコスモスを植えることは、園芸種であることから、周辺へ逸出させない管理が必須と考えられる。
- ◇ ガマは現在の穂綿から大量の種子を秋に散布することから、散布を防ぎたいのであれば、早いうちに穂を刈り取ってしまうことが望まれる。
- ◇ 現在の場所は水域面積が少ないことからこれを広げることで、周辺の水田の水位が下がったときの水生昆虫の避難場所としての価値がより高まることが想定される。
- ◇ 今回、試験的に小規模の水域を広げたが、これらの効果について引き続き確認のうえ、良好であれば広げるなどの措置が望まれる。



【駒形 南原堤でできることを考える】





＜駒形 南原堤での主な意見＞

（１）南原堤上流側のため池内の草地

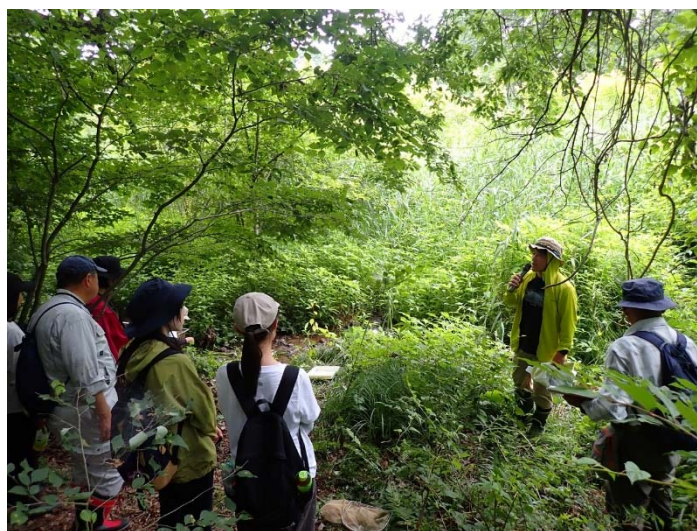
- ◇ 学名に会津の地名が含まれているカラコギカエデ (*Acer tataricum subsp. aidzuense*) は保全する。
- ◇ かつては丁寧な除草によって成立していた名残である、斜面上のオカトラノオやヒヨドリバナなどの花をつける植物がみられる。部分的でもよいので除草を行うことができれば、これらの植生の復活のきっかけになると考えられる。
- ◇ 残存地下茎からの再生力が高く、成長に伴って除去が困難になるシンジュ（ニワウルシ）は株が小さなうちにできるだけ早い段階での除去が望まれる。



（２）ため池内の沢筋

- ◇ この湿地環境の一つの方向性として、もう少し開けた湿地を目指していくことが考えられる。
- ◇ 今のようにヨシの繁茂をそのままにしておくと、やがて樹木が入り込み、遷移が進んでしまう。人手も必要となるため簡単ではないが、ヨシ帯である今の段階で思い切って伐開できれば、より開放的な湿地環境が生まれる。
- ◇ ここは植物の種類が豊富でワクワクするような環境であるが、先ほどの話は植生の観点だけでなく、水生昆虫の生息空間という点からも開けたオープンスペースがあることに意義があると思った。
- ◇ 旧池内へのアクセス候補箇所では、樹冠が存在することで下草が生えにくい環境となっていることから、これを活用し、大きな樹木は残し、林床の低木を適宜除去することが望まれる。
- ◇ 傾斜部分は踏圧によって荒れるようであれば、丸太を置くなどして人の出入りする部分とそうでない部分を分けてもよい。
- ◇ 樹冠に引っかかっている枯れ枝は、落下の危険があるため、利用前にはこれらを除去する必要がある。
- ◇ クマによる獣害対策をするのであれば、開けた場所をベルト状に意図的に造成するなどの対策が考えられる。

- ◇ 食べられる植物であるサルナシは保全する。
- ◇ 来場者が水にふれあえる場所を形成するには、沢筋に、小堤を作って堰上げて湛水させる方法が考えられる。ただし急勾配であり、水がたまりにくい場合は、棚田状に湛水部を形成するか、より湛水しやすい下流側のフラットに近い部分で実施することが考えられる。
- ◇ 食べられる植物としてマコモを植えた場合、本種は常時水に漬かっているような比高帯に生育するため、そのような立地条件を形成できれば、生育する可能性は考えられる。
- ◇ 池内を周遊できるように道状に草刈りすることも考えられる。
- ◇ 河道改修をする場合は、現場の試行錯誤で最適解を探っていくとよい。



（３）湿地林

- ◇ 日陰を好む生物の生息空間として貴重であり、保全が望まれる。
- ◇ 水域内には朽木が存在するが、これに産卵するトンボの仲間もいるため、存置が望まれる。
- ◇ 水域内にある竹は、あまり生物利用が多くないと思われることから、撤去が好ましい。
- ◇ 林内を利用地にするのであれば、利用する場所、させない場所をガイドロープや足場板を敷くなどして区分けするのが好ましい。
- ◇ 林床に散らばる倒木など、足をとられないように片付けておくことが好ましい。
- ◇ 水深がわずかであるため、上流部からの流水の供給が確保できるとよい。



【振り返りと閉会】



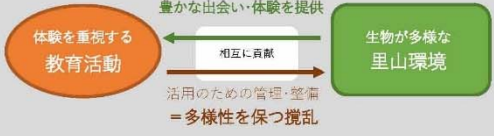
バスの中での本日のプログラムの振り返り



閉会の挨拶

参考資料 1（座学研修の講義資料）

【参考資料 1-1】 人の営みとともにある生物多様性をめざして 講演資料（1/7）

人の営みとともにある生物多様性をめざして 近自然工法の事例紹介 2026.07.11 小さな自然再生研修会 熱帯未来会議 株式会社 ナツル ナヘル ラントシャフト 西山 穂	1. 若草幼稚園「すくすくの森」の里山環境保全と体験教育  学校法人 若草幼稚園 / 株式会社 ナツル ナヘル ラントシャフト
▶森の概要 すくすくの森 バス 5～10分 園児専用の体験フィールド 約2ha(私有地+借用地) 月・火・木曜日に別れて、ほぼ毎週 弁当を持って来訪、約3時間ここで過ごす 若草幼稚園 雪見 8クラス×15～20人 ＝約150人 3	
若草幼稚園の教育 「あそび」「実体験」 を通じた育ちを促す  若草幼稚園パンフレットより	▶ビジョン すくすくの森で目指すこと「里山と教育」 「自然豊かな里山環境」「豊かな体験を提供する教育環境」をともに実現する 

【参考資料 1-1】 人の営みとともにある生物多様性をめざして 講演資料 (2/7)

▶ 意義 教育の意義 (森の恩恵) ・ 諸感覚が開き、活性化する 平衡感覚 固有覚 触覚 視覚 聴覚 嗅覚 味覚 ・ 知的好奇心が触発される ・ 美的感性が磨かれ広がる 里山保全の意義 (複合) 二次的自然を維持できる 里山は、人の生活のために手が加えられた二次的自然 (新開林など)。 これらは生物多様性第2の危機 = 「自然に対する働きかけの縮小による危機」 に瀕している。 → 使うことで危機回避に貢献できる。		諸感覚 
		
	知的好奇心 	

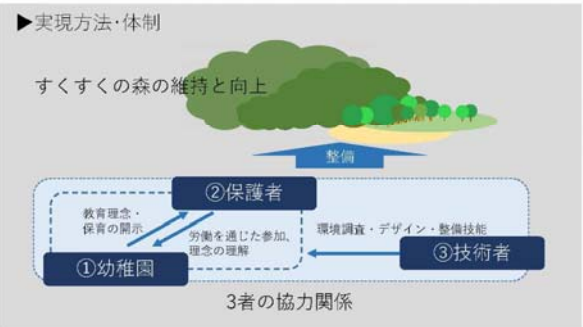
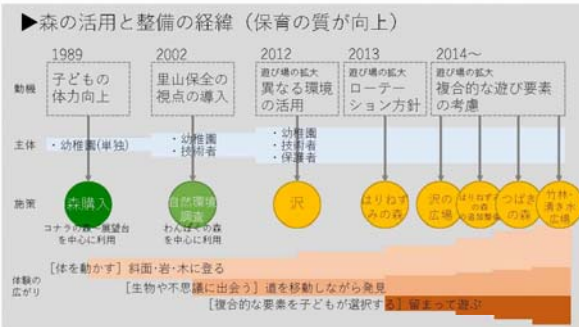
【参考資料 1-1】 人の営みとともにある生物多様性をめざして 講演資料 (3/7)



【参考資料 1-1】 人の営みとともにある生物多様性をめざして 講演資料 (4/7)

	▶意義 教育の意義（森の授業） ・諸感覚が開き、活性化する 平衡感覚 固有覚 触覚 視覚 聴覚 嗅覚 味覚 ・知的好奇心が触発される ・美的感性が磨かれ広がる 里山保全の意義（攪乱） 二次的自然を維持できる 里山は、人の生活のために手が加えられた二次的自然（新自然林など）。 これらは生物多様性第2の危機＝「自然に対する働きかけの減少による危機」に瀕している。 →使うことで危機回避に貢献できる。 				
▶林床土壌の保護 間伐材を活用し「侵食」から「堆積」へ  手入れの効果	▶日照の導入 手入れする前の森  基本の間伐 活動空間を確保 (樹冠を改変しない)  光を入れる間伐 こならの森 ・満水水広場 ・沢 (樹冠を改変しない) 				
▶樹林整備の展開 林冠を開ける間伐の結果 ～空・花・実生～ 	▶デザイン意図 <table border="1"> <thead> <tr> <th>教育の意図</th> <th>里山保全の意図</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> 体験行動をたずける空間整備 エリア毎の可能性を引き出すプラン 拠点広場・道の設置 行動阻害の解消 倒木・落枝の集積整理 低木・下草の刈払い 事故原因の解消 かかり木・かかり枝の除去・解体 立ち枯れ木の伐採 不安定な巨石の安定化 (適度な身体負荷) </td> <td> 林床に光を入れる 高木・固高木の除去・下草刈り → 林床植生の多様化 土壌流失を減らす 粗大タム、杭杭 行動範囲の制限、道の経路変更 竹林の拡大を抑える 雑木林内の竹の伐採 竹林内の間伐 草地・果樹園を維持する 草刈り・果樹の剪定 (適度な攪乱) </td> </tr> </tbody> </table>	教育の意図	里山保全の意図	体験行動をたずける空間整備 エリア毎の可能性を引き出すプラン 拠点広場・道の設置 行動阻害の解消 倒木・落枝の集積整理 低木・下草の刈払い 事故原因の解消 かかり木・かかり枝の除去・解体 立ち枯れ木の伐採 不安定な巨石の安定化 (適度な身体負荷)	林床に光を入れる 高木・固高木の除去・下草刈り → 林床植生の多様化 土壌流失を減らす 粗大タム、杭杭 行動範囲の制限、道の経路変更 竹林の拡大を抑える 雑木林内の竹の伐採 竹林内の間伐 草地・果樹園を維持する 草刈り・果樹の剪定 (適度な攪乱)
教育の意図	里山保全の意図				
体験行動をたずける空間整備 エリア毎の可能性を引き出すプラン 拠点広場・道の設置 行動阻害の解消 倒木・落枝の集積整理 低木・下草の刈払い 事故原因の解消 かかり木・かかり枝の除去・解体 立ち枯れ木の伐採 不安定な巨石の安定化 (適度な身体負荷)	林床に光を入れる 高木・固高木の除去・下草刈り → 林床植生の多様化 土壌流失を減らす 粗大タム、杭杭 行動範囲の制限、道の経路変更 竹林の拡大を抑える 雑木林内の竹の伐採 竹林内の間伐 草地・果樹園を維持する 草刈り・果樹の剪定 (適度な攪乱)				

【参考資料 1-1】 人の営みとともにある生物多様性をめざして 講演資料 (5/7)

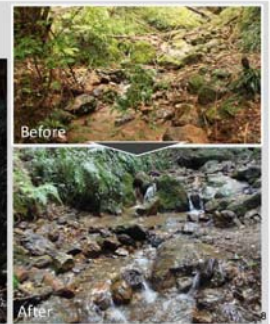


▶2012 手づくり森整備の取り組み

近自然工法の専門家 福留脩文さん(故人)の指導を受け、保護者ボランティアの参加を得て、2012年8月に 第1回 実施。



沢の遊び場整備



その後の補修と広場の整備



遊び場としての活用



【参考資料 1-1】 人の営みとともにある生物多様性をめざして 講演資料 (6/7)

整備が拡げた保育の可能性 ～滞在して遊べる場の有用性～
園児の遊びは同時多発的

保育者の目と声が届くひとまとまりの空間で、
いくつもの遊び要素を提供できること



冒険・挑戦

自然の岩やツルで遊ぶ
(挑戦意欲をかきたてる要素)



採集・見立て・ごっこ遊び

発生材を遊具に見立てて遊ぶ
(ごっこ遊びを促す要素)



自力建設・空間創造

空間に自ら手を加えてつくりかえて遊ぶ



▶14年間で24回の参加型整備

2012.08.27-28 沢の遊び場整備
2013.12.01 はりねずみの森の竹伐採
2014.05.17 沢の定定化と道の維持
2015.11.28 はりねずみの森の松木伐倒、落枝整備
2016.05.14 沢の広場整備
2016.11.12 沢の除染伐
2017.05.27 沢のクワ処理と道の維持
2017.11.11 はりねずみの森の木の倒木落枝整備
2018.05.26 つばきの森整備(1)
2018.12.08 つばきの森整備(2)
2019.05.25 つばきの森整備(3)
2019.11.30 湧き水広場の竹伐採、道の付け替え
2020.11.28 わんぱくの森倒木処理、こならの森林緑の伐倒
2021.10.30 竹林の倒木(竹)処理と間伐、道整備
2022.06.04 観察の森 道整備と地震時つかり施設設置
2022.10.29 こならの森の間伐と林床保護
2023.06.03 竹林の間伐、処理材の再整備と、湧き水広場整備
2023.10.21 こならの森の間伐と道整備
2024.06.08 はりねずみの森の再整備
2024.10.26 こならの森の間伐、道整備と新規用地の開拓(1)
2025.05.31 森の入口・竹林・湧き水広場の竹間伐と道維持
2025.10.25 こならの森の間伐、道整備と新規用地の開拓(2)
2026.05.23 わんぱくの森倒木処理、沢割面の枯竹処理



【参考資料 1-1】 人の営みとともにある生物多様性をめざして 講演資料（7/7）



【参考資料 1-2】 近自然工法と通潤用水下井手 講演資料（1/7）

近自然工法と通潤用水下井手

2026.07.11 小さな自然再生研修会 熱塩未来会議

株式会社 ナツル ナヘル ラントシャフト 西山 穂

Landschaft（ラントシャフト：景観）

無機環境 + 生態系 + 人間社会（とその歴史）が積層している総体

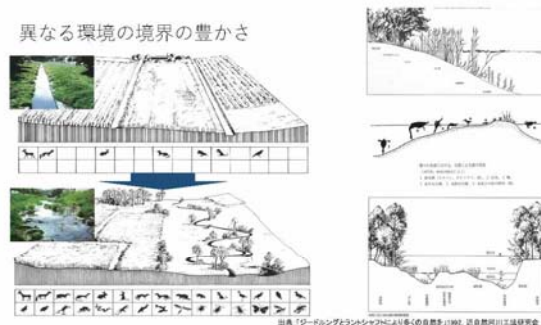
= 生物多様性・文化多様性の基盤構造



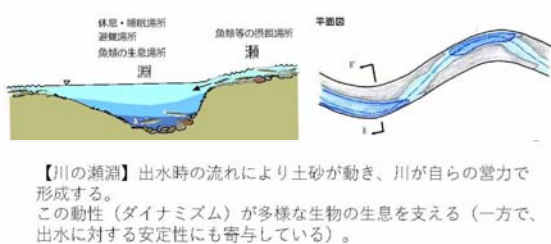
生物多様性は、膨大なマイクロ生命集団の上に成り立つ



異なる環境の境界の豊かさ

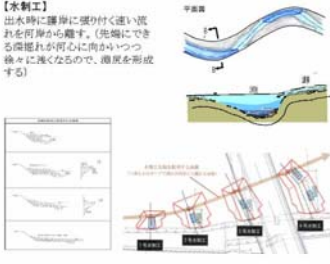
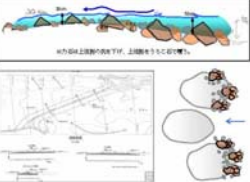


環境の動的な形成・変化・反復更新

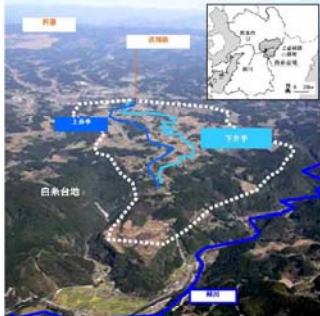


出典「ランドンダとラントシャフトにより多くの自然を」1982、近自然河川工法研究会

【参考資料 1-2】 近自然工法と通潤用水下井手 講演資料 (2/7)

多自然川づくり (瀬と淵の再生) 【水制工】 出水時に護岸に張り付く速い流れを河岸から離す。(先端にできる凹凹れが河心に向かいつつ徐々に浅くなるので、適度形成する)  	【水制の形とイメージ】(事例: 高知県伊尾木川)      
【瀬補強工の形とイメージ】(事例: 高知県鏡川) 【瀬補強工】 一度荒れた河床でも瀬が形成されるよう、粒径の大きい石材を点々と配置することで土砂が溜まりやすい状況を回復する。    	近自然工法を用いて扱ってきた対象 多自然川づくり・農業用水路・手づくり魚道 民間企業の用地造成 石積の登山道 文化的景観 (計画策定による誘導) 自力建設 (石積指導・森の遊び場整備) 学び/育ちの空間
農業用水路 2009~11通潤用水下井手      	2011~14四万十町 越行水路  

【参考資料 1-2】 近自然工法と通潤用水下井手 講演資料 (3/7)

幕末の大規模な用水路事業の施設 能登川の約5km上流にある能登郡を軸に通潤橋、上井手、下井手、支那水路により構成される。山腹を斜行する開水路と、麓谷を貫通する通水坑(暗渠水路)から成り、灌漑時の豪雨水は灌漑の主な水源となる。また支那を告げるた水路システム全体は通潤時のまま機能している。  	通潤用水 (熊本県 山都町)  
1 水路環境の歴史性 材料・構造・形をなるべく変えない 2 生態の維持 灌漑作業時にも生態系を保全 3 生物への配慮 水路環境を改善し「アブラゼミ」ほかゲンゴロウ、カゲロウ、カゲロウ、カゲロウの仲間など水生生物 	事業の経緯 灌漑設備 熊本県山都町による計画案 【当初案】 【再検討案】 第一審判、早期で一貫した計画であるという理由の中で主として認められるため、生物が利用する多様な河川状況と環境が損なわれる。 文化庁補助による山都町の事業として実施された (事業担当者: 生達学芸員)
工事前 	工事中 

【参考資料 1-2】 近自然工法と通潤用水下井手 講演資料 (4/7)

丁寧に調べ、よく話し合う

水理計算

河川の断面・長さ・流量など

現地

現場調査・現地調査・現地調査

農家と対話

農家の意向・要望・意見・要望

生物の知見

生物の生態・生活・繁殖・生活

川づくり(近自然工法)の知恵と工夫をつめこむ

不均一な水路形状

水路の断面・長さ・流量など

つぎはぎ整備

現場調査・現地調査・現地調査

堤防・畦畔管理

堤防・畦畔の管理・維持

緩い流れ・ゆるい

水路の断面・長さ・流量など

【水路補修の要件】

【治水能力の確保】

【保食・漏水補修の確保】

【管理用通路の要件】

【使用する車輦の確保】

【治水能力の確保】

【保食・漏水補修の確保】

【管理用通路の要件】

【使用する車輦の確保】

【生物保全の要件】

河川・湖沼の生物多様性	生物保全	生物保全
1 アブラハヤ	アブラハヤの生態・生活・繁殖・生活	アブラハヤの生態・生活・繁殖・生活
2 アブラハヤ	アブラハヤの生態・生活・繁殖・生活	アブラハヤの生態・生活・繁殖・生活
3 アブラハヤ	アブラハヤの生態・生活・繁殖・生活	アブラハヤの生態・生活・繁殖・生活

流水

水路床

水生

季節変化

不明要素

【標準形：水路内をできるだけ変えない】

標準形による標準形と、現地の状況・状況によって水路を補修し、管理用通路も確保する。

標準形による標準形と、現地の状況・状況によって水路を補修し、管理用通路も確保する。

標準形による標準形と、現地の状況・状況によって水路を補修し、管理用通路も確保する。

【参考資料 1-2】 近自然工法と通潤用水下井手 講演資料 (5/7)

【多様な通流域・止水域の創出】
(2-1) 水路底面の拡張
 自然部や斜面造成、敷地の水辺空間や風景的に水質改善機能に、植生や地形変化の自然要素も取り入れ、また竹藪伐採により水際の自然を創出した。

実施期：11月実施、13-14月実施、24-25月実施

3-2 近自然の拡張
 事業の自然部や斜面造成の敷地がほとんどない場合、通潤用水下井手により、治水時の水溜りする近自然的な場所を創出した。

実施期：11月実施

3-3 通流域の創出・接続
 事業の自然部や斜面造成の敷地がほとんどない場合、通潤用水下井手により、治水時の水溜りする近自然的な場所を創出した。

実施期：11月実施

近自然工法を用いて扱ってきた対象

- 多自然川づくり・魚道
- 民間企業の用地造成
- 石積の登山道
- 文化的景観・文化財の保全と活用
- 自力建設（石積指導・森の遊び場整備）
- 学び/育ちの空間

【参考資料 1-2】 近自然工法と通潤用水下井手 講演資料（6/7）

多自然川づくり（親水空間）  2009~15 白川 緑の区間 1998~02 加勢川 川尻	粗度が大きい水際  平板・捨石の間にできた浅い緩流域 
竹蛇籠構造の魚道 2014~15 三崎川（はたのおと輝求部 手づくり魚道） ▼2014間伐材+大型土のう（失敗）  ▼2015竹蛇籠 	民間企業の用地造成 1998~02 サンデン工場敷地(64ha) 
民間企業の用地造成 2007~トヨタテストコース敷地 660ha 	石積の登山道（登山道・神社参道） 1998~99 屋久島 龍神杉歩道  2000~04 大雪山登山道 

【参考資料 1-2】 近自然工法と通潤用水下井手 講演資料 (7/7)

梶ヶ森登山道

歩行者踏圧→雨水侵食



ステップアンドプールのにより、侵食を抑えた排水構造とする



【参考資料 1-3】 バイオ田んぼプロジェクト 講演資料 (1/13)

太刀川晴之 (株式会社エーゼログループ 生態系デザインチーム・地域創発研究所)



- ・生きもの好きな幼少期 (東京)
部会で貰った、虫が大好きな虫捕り少年
山菜採りの楽しさにはまる
- ・倉学館で獣害対策をテーマに研究 (岩手)
里山や人と自然の関わり方に関心
野生動物との出会いを求めて土日はフィールド調査
- ・環境省で国立公園管理や外来種対策に従事 (東京・八戸)
現場事務所地域の一線と自然と関わる生き方に惹かれる
- ・地方移住し、地域側でビジネスを手段に環境保全の仕組みづくり
に奮闘中 (鳥取・興山)

#里山 #生物多様性 #獣害問題 #人と自然の関わり方 #バイオープ #田んぼ
#地域資源管理・活用 #野生動物管理 #資源循環

0. 西栗倉村とエーゼログループについて



未来の
里山をつくる

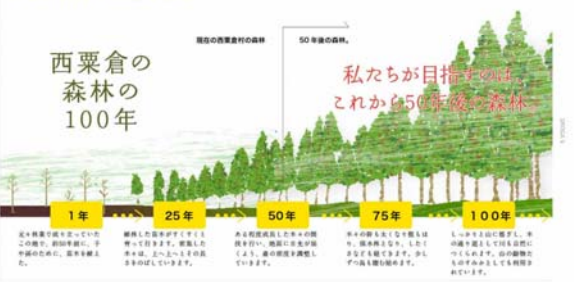
岡山県西栗倉村 2004年-2025年の変化



- ・人口約1600人>約1300人
- ・ローカルベンチャー：約50社
- ・売上合計：約20億円
- ・Iターン：約200名
- ・Uターン：約70名
- ・地域おこし協力隊：現在約50名

森林率：93% (ほぼスギ・ヒノキの人工林)
「生物多様性保全上重要な里地山」に選定

西栗倉村百年の森林構想



現在の西栗倉村の森林 50年後の森林

西栗倉の
森林の
100年

私たちが目指すのは、
これから50年後の森林

1年 25年 50年 75年 100年



森の土の表面にある、
生命を育むための大切な層を
「AO (エーゼロ) 層」といいます。

AO層があるからこそ、
森の物質循環が維持されることと同じように、
私たちは、日本の地域経済の循環を
下支えしていきたいと考えています。

事業概要

「未来の里山」の実現に資する事業を自然資本領域、社会資本領域、経済資本領域において行う。

事業領域	エリア別の主な事業		
	西栗倉地区 (岡山県西栗倉村)	鳥取県地区 (鳥取県八雲町)	山口県地区 (山口県美祿町)
経済資本 資本領域	「山と森のふし」による 観光振興	「山と森のふし」による 観光振興	「山と森のふし」による 観光振興
社会資本 資本領域	「山と森のふし」による 観光振興	「山と森のふし」による 観光振興	「山と森のふし」による 観光振興
自然資本 資本領域	「山と森のふし」による 観光振興	「山と森のふし」による 観光振興	「山と森のふし」による 観光振興



【参考資料 1-3】 バイオ田んぼプロジェクト 講演資料（2/13）

自然資本領域事業 イメージ図
資源循環から生まれる多様な価値を事業に

養蜂事業
獣肉加工流通事業
イチゴ農園事業
木材加工事業
カフェ・レストラン事業
バイオ田んぼ事業
たい肥化事業

都市にはない自然資本を最大限活用し、かけ合わせることで新たな価値を生み出し、生まれた価値を自然に還元する持続可能な循環システム

1. 「バイオ田んぼプロジェクト」～背景と概要～

里山の潜在価値を引き出し、分かち合う仕組みづくりで社会を豊かにする

バイオ田んぼプロジェクト

中山間地域の稲作の現状

岡山県西条市（西条市と南隣の市）
・人口：333人（2015.10.1）
・面積：1,279ha
・1戸あたり：約1.2ha（50%以上が水田）

中山間地域の稲作の現状（岡山県西条市）

項目	数値
稲作面積（ha）	1,279
稲作人口（人）	333
1戸あたり（ha）	約1.2
1戸あたり（人）	約1.2
1戸あたり（ha）	約1.2
1戸あたり（人）	約1.2
1戸あたり（ha）	約1.2
1戸あたり（人）	約1.2

高齢化の進行する中山間地域では地域の持続性そのものが喫緊の課題
⇒自然環境が保全されることで、暮らしや地域課題も同時に解決される事業設計が必要

農業の近代化と「バイオ田んぼプロジェクト」が目指すシフトチェンジ

農業の近代化
人為的な選択圧や環境変化
化学肥料の使用の増加
殺虫剤の使用
用排水路の分断
乾田化
水路や畦畔のコンクリート化

シフトチェンジ
中山間地域
中山間地域においては、食糧生産に特化せず、多面的機能発揮による社会的・環境的な価値向上を目指す

食糧生産に特化する近代農業と多面的機能の発揮の両立の難しさ

食糧生産：効率性・生産性の向上
環境面：水田環境の劣化（種の減少等）
効率性・生産性は維持
一部コスト低減
生物多様性を含む多面的価値の向上

目指しているのは「人も自然も豊かになる農業」

農業の近代化は均一性を高め、規模で勝負するやり方
→ 中山間地域では難しい...

均一性 × 規模
大量生産／専門分化
外部化によって効率UP

多様性 × 密度
多角化／多能化
社内共助で収益UP

多様な環境があり、自然が豊か
手触りのある農業、農的な暮らし
関係人口による地域再生

バイオ田んぼプロジェクト

環境保全型農業を実践しながら、田んぼの中（面積の約1割）にビオトープや水路（江）を造成して生きものを保全

2023.4～ 田んぼ内にビオトープ造成 極力農業を使わずに米づくり

2023年 1圃場 1566㎡
2024年 5圃場 6900㎡
2026年 8圃場 13978㎡

【参考資料 1-3】 バイオ田んぼプロジェクト 講演資料 (3/13)

環境配慮事項 ✓ 水田へのビオトープや江（水路）の併設 ✓ 可能な限り除草剤不使用 ✓ 田植え後の米ぬか散布（除草と生きものの増加） ✓ カメムシ防除剤（殺虫剤）不使用 ✓ 深水管理 ✓ 中干し延期（中干し開始時期の後ろ倒し） ✓ 緑肥やたい肥の施用 ✓ 一発肥料（プラスチックコーティング）の不使用 ✓ 畔草の高刈り 	バイオ田んぼの特徴  【田んぼとつながる】 畔を新設して、田んぼ部分とつながるビオトープを造成。田んぼとつながっているため、生きものが自由に行き来できる。 【常時流水】 田んぼの面よりも深く掘り込み、常時流水が流れるようにする。 【モサイク造成のエコトーン】 形を複雑にし、より深い場所によって変え、均一な田んぼに多様な環境をつくる。 【田んぼの水口側にビオトープを作る】 冷たい流水がビオトープで温まってから田んぼに入り、イネの生長が促進されるように設計。 【田んぼの水口】 中干しや多量でもビオトープの時に水を流し入れることが可能。
バイオ田んぼの特徴  【様々な山溪が採れるバイオトープ】 バイオトープでは、マコモ、セリ、クワイを栽培。生きものの生息場所としてだけでなく、美味しい米もつくると好評です。魚やカエルの生息地にも。 【田んぼのウッドデッキ】 木道を設けず、丸木の上に板を敷いただけのデッキの下は隙間になり、生きものの住みかとして機能。デッキ上では生きものの観察やイベント時の休憩や昼食場所にも。 【水路は水田沿って敷設】 水路の脇は刈らずに残し、水路以外に高刈りをする事で、生きものに配慮。	田んぼの環境造成 ビオトープ及び水田内水路（江）の掘削 
周辺水路の環境造成  堰板による堰き止め 石の投入とバープ工の設置 ・ 浅い ・ 流れが速い ・ 3面コンクリで植生や石積みがなく、生きものの隠れ場所がない この水路より下流に取水している田んぼがないため、実施できた！どう広げていく？	2026年 川～水路～田んぼをポータブル魚道で連続させる  吉野川本川とバイオ田んぼにつながる水路、水路とバイオ田んぼを魚道で接続。メダカ、ドジョウ等の遡上を確認 ドジョウ メダカ

【参考資料 1-3】 バイオ田んぼプロジェクト 講演資料 (4/13)

【手軽にできる！水域の持続性回復の実証】

✓ポータブル魚道

- ① 誰でも速やかに流れを創出
- ② ユニットの交換で迅速な機能回復
- ③ 分割でき復元が容易



誰もが容易に水域の堰や構造物による流れの分断を改善し、地域の生物多様性が回復できることを目指し、香川高専・高橋研究室と共同プロジェクト開始。

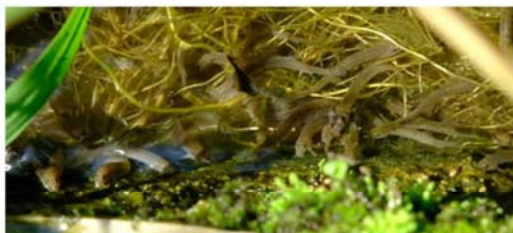
ポータブル魚道の地域実装に取り組みながら、効果的な設置やモニタリング手法開発、普及啓発ツールやキットの開発などに取り組む予定



1. 「バイオ田んぼプロジェクト」 ～生きものの変化～



ドジョウ・メダカの増加 (2023年～)



タガメの繁殖 (2024年～)



コウノトリの飛来 (2025年・2026年)



水路にも砂泥や落ち葉がたまり、ヤゴ、カワムツ、ドジョウ、ヨシノボリ、タカハヤ等が多数生息できるように

【参考資料 1-3】 バイオ田んぼプロジェクト 講演資料 (5/13)

2024年～ シラスウナギのバイオ田んぼへの放流試験  ←2026.6.9 再捕獲個体	<u>点から面へ</u> ・圃場内の取組 ...バイオトープや江の併設、環境保全型栽培 畔管理、中干し延期 ・圃場周辺の取組 ...水路環境の整備、川～水路～田んぼの連続性回復（魚道） 竹林整備 圃場周辺の取組においては周辺農家や住民の理解が必要。 目的の共有と問題が発生してしまった場合の原状復帰（回復性）が鍵が まずは小さく始めてみる。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
1. 「バイオ田んぼプロジェクト」 ～自然をどう測るか～ 	<u>自然は回復していそう...どうやって「見えるか」する？</u> 生物多様性への影響について、可視化することで適切な管理を積み重ねていく 自然の価値が可視化できると、住民理解や企業や行政との連携も取りやすくなる。 販売促進にもつながれたら嬉しい... ・水田の生物多様性に関しては様々な先行研究が蓄積 ・無理せず、できることからやってみる。できなければ、いろんな人の力を借りる。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
自然の見える化（モニタリング） ① 定性調査（圃場ごとの生物種調査） ・2025年～7月に国際自然環境アウトドア専門学校（新潟） が授業の一環で調査実施 <table border="1"> <thead> <tr> <th>生物種</th> <th>2025.4.18</th> <th>2025.4.26</th> <th>2025.5.31</th> <th>2025.6.9</th> <th>2025.6.16</th> <th>2025.6.23</th> <th>2025.6.30</th> <th>2025.7.7</th> <th>2025.7.14</th> <th>2025.7.21</th> <th>2025.7.28</th> <th>2025.8.4</th> <th>2025.8.11</th> <th>2025.8.18</th> <th>2025.8.25</th> <th>2025.9.1</th> <th>2025.9.8</th> <th>2025.9.15</th> <th>2025.9.22</th> <th>2025.9.29</th> <th>2025.10.6</th> <th>2025.10.13</th> <th>2025.10.20</th> <th>2025.10.27</th> <th>2025.11.3</th> <th>2025.11.10</th> <th>2025.11.17</th> <th>2025.11.24</th> <th>2025.12.1</th> <th>2025.12.8</th> <th>2025.12.15</th> <th>2025.12.22</th> <th>2025.12.29</th> <th>2026.1.5</th> <th>2026.1.12</th> <th>2026.1.19</th> <th>2026.1.26</th> <th>2026.2.2</th> <th>2026.2.9</th> <th>2026.2.16</th> <th>2026.2.23</th> <th>2026.2.29</th> <th>2026.3.6</th> <th>2026.3.13</th> <th>2026.3.20</th> <th>2026.3.27</th> <th>2026.4.3</th> <th>2026.4.10</th> <th>2026.4.17</th> <th>2026.4.24</th> <th>2026.5.1</th> <th>2026.5.8</th> <th>2026.5.15</th> <th>2026.5.22</th> <th>2026.5.29</th> <th>2026.6.5</th> <th>2026.6.12</th> <th>2026.6.19</th> <th>2026.6.26</th> <th>2026.7.3</th> <th>2026.7.10</th> <th>2026.7.17</th> <th>2026.7.24</th> <th>2026.7.31</th> <th>2026.8.7</th> <th>2026.8.14</th> <th>2026.8.21</th> <th>2026.8.28</th> <th>2026.9.4</th> <th>2026.9.11</th> <th>2026.9.18</th> <th>2026.9.25</th> <th>2026.10.2</th> <th>2026.10.9</th> <th>2026.10.16</th> <th>2026.10.23</th> <th>2026.10.30</th> <th>2026.11.6</th> <th>2026.11.13</th> <th>2026.11.20</th> <th>2026.11.27</th> <th>2026.12.4</th> <th>2026.12.11</th> <th>2026.12.18</th> <th>2026.12.25</th> <th>2027.1.1</th> <th>2027.1.8</th> <th>2027.1.15</th> <th>2027.1.22</th> <th>2027.1.29</th> <th>2027.2.5</th> <th>2027.2.12</th> <th>2027.2.19</th> <th>2027.2.26</th> <th>2027.3.5</th> <th>2027.3.12</th> <th>2027.3.19</th> <th>2027.3.26</th> <th>2027.4.2</th> <th>2027.4.9</th> <th>2027.4.16</th> <th>2027.4.23</th> <th>2027.4.30</th> <th>2027.5.7</th> <th>2027.5.14</th> <th>2027.5.21</th> <th>2027.5.28</th> <th>2027.6.4</th> <th>2027.6.11</th> <th>2027.6.18</th> <th>2027.6.25</th> <th>2027.7.2</th> <th>2027.7.9</th> <th>2027.7.16</th> <th>2027.7.23</th> <th>2027.7.30</th> <th>2027.8.6</th> <th>2027.8.13</th> <th>2027.8.20</th> <th>2027.8.27</th> <th>2027.9.3</th> <th>2027.9.10</th> <th>2027.9.17</th> <th>2027.9.24</th> <th>2027.10.1</th> <th>2027.10.8</th> <th>2027.10.15</th> <th>2027.10.22</th> <th>2027.10.29</th> <th>2027.11.5</th> <th>2027.11.12</th> <th>2027.11.19</th> <th>2027.11.26</th> <th>2027.12.3</th> <th>2027.12.10</th> <th>2027.12.17</th> <th>2027.12.24</th> <th>2028.1.1</th> <th>2028.1.8</th> <th>2028.1.15</th> <th>2028.1.22</th> <th>2028.1.29</th> <th>2028.2.5</th> <th>2028.2.12</th> <th>2028.2.19</th> <th>2028.2.26</th> <th>2028.3.5</th> <th>2028.3.12</th> <th>2028.3.19</th> <th>2028.3.26</th> <th>2028.4.2</th> <th>2028.4.9</th> <th>2028.4.16</th> <th>2028.4.23</th> <th>2028.4.30</th> <th>2028.5.7</th> <th>2028.5.14</th> <th>2028.5.21</th> <th>2028.5.28</th> <th>2028.6.4</th> <th>2028.6.11</th> <th>2028.6.18</th> <th>2028.6.25</th> <th>2028.7.2</th> <th>2028.7.9</th> <th>2028.7.16</th> <th>2028.7.23</th> <th>2028.7.30</th> <th>2028.8.6</th> <th>2028.8.13</th> <th>2028.8.20</th> <th>2028.8.27</th> <th>2028.9.3</th> <th>2028.9.10</th> <th>2028.9.17</th> <th>2028.9.24</th> <th>2028.10.1</th> <th>2028.10.8</th> <th>2028.10.15</th> <th>2028.10.22</th> <th>2028.10.29</th> <th>2028.11.5</th> <th>2028.11.12</th> <th>2028.11.19</th> <th>2028.11.26</th> <th>2028.12.3</th> <th>2028.12.10</th> <th>2028.12.17</th> <th>2028.12.24</th> <th>2029.1.1</th> <th>2029.1.8</th> <th>2029.1.15</th> <th>2029.1.22</th> <th>2029.1.29</th> <th>2029.2.5</th> <th>2029.2.12</th> <th>2029.2.19</th> <th>2029.2.26</th> <th>2029.3.5</th> <th>2029.3.12</th> <th>2029.3.19</th> <th>2029.3.26</th> <th>2029.4.2</th> <th>2029.4.9</th> <th>2029.4.16</th> <th>2029.4.23</th> <th>2029.4.30</th> <th>2029.5.7</th> <th>2029.5.14</th> <th>2029.5.21</th> <th>2029.5.28</th> <th>2029.6.4</th> <th>2029.6.11</th> <th>2029.6.18</th> <th>2029.6.25</th> <th>2029.7.2</th> <th>2029.7.9</th> <th>2029.7.16</th> <th>2029.7.23</th> <th>2029.7.30</th> <th>2029.8.6</th> <th>2029.8.13</th> <th>2029.8.20</th> <th>2029.8.27</th> <th>2029.9.3</th> <th>2029.9.10</th> <th>2029.9.17</th> <th>2029.9.24</th> <th>2029.10.1</th> <th>2029.10.8</th> <th>2029.10.15</th> <th>2029.10.22</th> <th>2029.10.29</th> <th>2029.11.5</th> <th>2029.11.12</th> <th>2029.11.19</th> <th>2029.11.26</th> <th>2029.12.3</th> <th>2029.12.10</th> <th>2029.12.17</th> <th>2029.12.24</th> <th>2030.1.1</th> <th>2030.1.8</th> <th>2030.1.15</th> <th>2030.1.22</th> <th>2030.1.29</th> <th>2030.2.5</th> <th>2030.2.12</th> <th>2030.2.19</th> <th>2030.2.26</th> <th>2030.3.5</th> <th>2030.3.12</th> <th>2030.3.19</th> <th>2030.3.26</th> <th>2030.4.2</th> <th>2030.4.9</th> <th>2030.4.16</th> <th>2030.4.23</th> <th>2030.4.30</th> <th>2030.5.7</th> <th>2030.5.14</th> <th>2030.5.21</th> <th>2030.5.28</th> <th>2030.6.4</th> <th>2030.6.11</th> <th>2030.6.18</th> <th>2030.6.25</th> <th>2030.7.2</th> <th>2030.7.9</th> <th>2030.7.16</th> <th>2030.7.23</th> <th>2030.7.30</th> <th>2030.8.6</th> <th>2030.8.13</th> <th>2030.8.20</th> <th>2030.8.27</th> <th>2030.9.3</th> <th>2030.9.10</th> <th>2030.9.17</th> <th>2030.9.24</th> <th>2030.10.1</th> <th>2030.10.8</th> <th>2030.10.15</th> <th>2030.10.22</th> <th>2030.10.29</th> <th>2030.11.5</th> <th>2030.11.12</th> <th>2030.11.19</th> <th>2030.11.26</th> <th>2030.12.3</th> <th>2030.12.10</th> <th>2030.12.17</th> <th>2030.12.24</th> <th>2031.1.1</th> <th>2031.1.8</th> <th>2031.1.15</th> <th>2031.1.22</th> <th>2031.1.29</th> <th>2031.2.5</th> <th>2031.2.12</th> <th>2031.2.19</th> <th>2031.2.26</th> <th>2031.3.5</th> <th>2031.3.12</th> <th>2031.3.19</th> <th>2031.3.26</th> <th>2031.4.2</th> <th>2031.4.9</th> <th>2031.4.16</th> <th>2031.4.23</th> <th>2031.4.30</th> <th>2031.5.7</th> <th>2031.5.14</th> <th>2031.5.21</th> <th>2031.5.28</th> <th>2031.6.4</th> <th>2031.6.11</th> <th>2031.6.18</th> <th>2031.6.25</th> <th>2031.7.2</th> <th>2031.7.9</th> <th>2031.7.16</th> <th>2031.7.23</th> <th>2031.7.30</th> <th>2031.8.6</th> <th>2031.8.13</th> <th>2031.8.20</th> <th>2031.8.27</th> <th>2031.9.3</th> <th>2031.9.10</th> <th>2031.9.17</th> <th>2031.9.24</th> <th>2031.10.1</th> <th>2031.10.8</th> <th>2031.10.15</th> <th>2031.10.22</th> <th>2031.10.29</th> <th>2031.11.5</th> <th>2031.11.12</th> <th>2031.11.19</th> <th>2031.11.26</th> <th>2031.12.3</th> <th>2031.12.10</th> <th>2031.12.17</th> <th>2031.12.24</th> <th>2032.1.1</th> <th>2032.1.8</th> <th>2032.1.15</th> <th>2032.1.22</th> <th>2032.1.29</th> <th>2032.2.5</th> <th>2032.2.12</th> <th>2032.2.19</th> <th>2032.2.26</th> <th>2032.3.5</th> <th>2032.3.12</th> <th>2032.3.19</th> <th>2032.3.26</th> <th>2032.4.2</th> <th>2032.4.9</th> <th>2032.4.16</th> <th>2032.4.23</th> <th>2032.4.30</th> <th>2032.5.7</th> <th>2032.5.14</th> <th>2032.5.21</th> <th>2032.5.28</th> <th>2032.6.4</th> <th>2032.6.11</th> <th>2032.6.18</th> <th>2032.6.25</th> <th>2032.7.2</th> <th>2032.7.9</th> <th>2032.7.16</th> <th>2032.7.23</th> <th>2032.7.30</th> <th>2032.8.6</th> <th>2032.8.13</th> <th>2032.8.20</th> <th>2032.8.27</th> <th>2032.9.3</th> <th>2032.9.10</th> <th>2032.9.17</th> <th>2032.9.24</th> <th>2032.10.1</th> <th>2032.10.8</th> <th>2032.10.15</th> <th>2032.10.22</th> <th>2032.10.29</th> <th>2032.11.5</th> <th>2032.11.12</th> <th>2032.11.19</th> <th>2032.11.26</th> <th>2032.12.3</th> <th>2032.12.10</th> <th>2032.12.17</th> <th>2032.12.24</th> <th>2033.1.1</th> <th>2033.1.8</th> <th>2033.1.15</th> <th>2033.1.22</th> <th>2033.1.29</th> <th>2033.2.5</th> <th>2033.2.12</th> <th>2033.2.19</th> <th>2033.2.26</th> <th>2033.3.5</th> <th>2033.3.12</th> <th>2033.3.19</th> <th>2033.3.26</th> <th>2033.4.2</th> <th>2033.4.9</th> <th>2033.4.16</th> <th>2033.4.23</th> <th>2033.4.30</th> <th>2033.5.7</th> <th>2033.5.14</th> <th>2033.5.21</th> <th>2033.5.28</th> <th>2033.6.4</th> <th>2033.6.11</th> <th>2033.6.18</th> <th>2033.6.25</th> <th>2033.7.2</th> <th>2033.7.9</th> <th>2033.7.16</th> <th>2033.7.23</th> <th>2033.7.30</th> <th>2033.8.6</th> <th>2033.8.13</th> <th>2033.8.20</th> <th>2033.8.27</th> <th>2033.9.3</th> <th>2033.9.10</th> <th>2033.9.17</th> <th>2033.9.24</th> <th>2033.10.1</th> <th>2033.10.8</th> <th>2033.10.15</th> <th>2033.10.22</th> <th>2033.10.29</th> <th>2033.11.5</th> <th>2033.11.12</th> <th>2033.11.19</th> <th>2033.11.26</th> <th>2033.12.3</th> <th>2033.12.10</th> <th>2033.12.17</th> <th>2033.12.24</th> <th>2034.1.1</th> <th>2034.1.8</th> <th>2034.1.15</th> <th>2034.1.22</th> <th>2034.1.29</th> <th>2034.2.5</th> <th>2034.2.12</th> <th>2034.2.19</th> <th>2034.2.26</th> <th>2034.3.5</th> <th>2034.3.12</th> <th>2034.3.19</th> <th>2034.3.26</th> <th>2034.4.2</th> <th>2034.4.9</th> <th>2034.4.16</th> <th>2034.4.23</th> <th>2034.4.30</th> <th>2034.5.7</th> <th>2034.5.14</th> <th>2034.5.21</th> <th>2034.5.28</th> <th>2034.6.4</th> <th>2034.6.11</th> <th>2034.6.18</th> <th>2034.6.25</th> <th>2034.7.2</th> <th>2034.7.9</th> <th>2034.7.16</th> <th>2034.7.23</th> <th>2034.7.30</th> <th>2034.8.6</th> <th>2034.8.13</th> <th>2034.8.20</th> <th>2034.8.27</th> <th>2034.9.3</th> <th>2034.9.10</th> <th>2034.9.17</th> <th>2034.9.24</th> <th>2034.10.1</th> <th>2034.10.8</th> <th>2034.10.15</th> <th>2034.10.22</th> <th>2034.10.29</th> <th>2034.11.5</th> <th>2034.11.12</th> <th>2034.11.19</th> <th>2034.11.26</th> <th>2034.12.3</th> <th>2034.12.10</th> <th>2034.12.17</th> <th>2034.12.24</th> <th>2035.1.1</th> <th>2035.1.8</th> <th>2035.1.15</th> <th>2035.1.22</th> <th>2035.1.29</th> <th>2035.2.5</th> <th>2035.2.12</th> <th>2035.2.19</th> <th>2035.2.26</th> <th>2035.3.5</th> <th>2035.3.12</th> <th>2035.3.19</th> <th>2035.3.26</th> <th>2035.4.2</th> <th>2035.4.9</th> <th>2035.4.16</th> <th>2035.4.23</th> <th>2035.4.30</th> <th>2035.5.7</th> <th>2035.5.14</th> <th>2035.5.21</th> <th>2035.5.28</th> <th>2035.6.4</th> <th>2035.6.11</th> <th>2035.6.18</th> <th>2035.6.25</th> <th>2035.7.2</th> <th>2035.7.9</th> <th>2035.7.16</th> <th>2035.7.23</th> <th>2035.7.30</th> <th>2035.8.6</th> <th>2035.8.13</th> <th>2035.8.20</th> <th>2035.8.27</th> <th>2035.9.3</th> <th>2035.9.10</th> <th>2035.9.17</th> <th>2035.9.24</th> <th>2035.10.1</th> <th>2035.10.8</th> <th>2035.10.15</th> <th>2035.10.22</th> <th>2035.10.29</th> <th>2035.11.5</th> <th>2035.11.12</th> <th>2035.11.19</th> <th>2035.11.26</th> <th>2035.12.3</th> <th>2035.12.10</th> <th>2035.12.17</th> <th>2035.12.24</th> <th>2036.1.1</th> <th>2036.1.8</th> <th>2036.1.15</th> <th>2036.1.22</th> <th>2036.1.29</th> <th>2036.2.5</th> <th>2036.2.12</th> <th>2036.2.19</th> <th>2036.2.26</th> <th>2036.3.5</th> <th>2036.3.12</th> <th>2036.3.19</th> <th>2036.3.26</th> <th>2036.4.2</th> <th>2036.4.9</th> <th>2036.4.16</th> <th>2036.4.23</th> <th>2036.4.30</th> <th>2036.5.7</th> <th>2036.5.14</th> <th>2036.5.21</th> <th>2036.5.28</th> <th>2036.6.4</th> <th>2036.6.11</th> <th>2036.6.18</th> <th>2036.6.25</th> <th>2036.7.2</th> <th>2036.7.9</th> <th>2036.7.16</th> <th>2036.7.23</th> <th>2036.7.30</th> <th>2036.8.6</th> <th>2036.8.13</th> <th>2036.8.20</th> <th>2036.8.27</th> <th>2036.9.3</th> <th>2036.9.10</th> <th>2036.9.17</th> <th>2036.9.24</th> <th>2036.10.1</th> <th>2036.10.8</th> <th>2036.10.15</th> <th>2036.10.22</th> <th>2036.10.29</th> <th>2036.11.5</th> <th>2036.11.12</th> <th>2036.11.19</th> <th>2036.11.26</th> <th>2036.12.3</th> <th>2036.12.10</th> <th>2036.12.17</th> <th>2036.12.24</th> <th>2037.1.1</th> <th>2037.1.8</th> <th>2037.1.15</th> <th>2037.1.22</th> <th>2037.1.29</th> <th>2037.2.5</th> <th>2037.2.12</th> <th>2037.2.19</th> <th>2037.2.26</th> <th>2037.3.5</th> <th>2037.3.12</th> <th>2037.3.19</th> <th>2037.3.26</th> <th>2037.4.2</th> <th>2037.4.9</th> <th>2037.4.16</th> <th>2037.4.23</th> <th>2037.4.30</th> <th>2037.5.7</th> <th>2037.5.14</th> <th>2037.5.21</th> <th>2037.5.28</th> <th>2037.6.4</th> <th>2037.6.11</th> <th>2037.6.18</th> <th>2037.6.25</th> <th>2037.7.2</th> <th>2037.7.9</th> <th>2037.7.16</th> <th>2037.7.23</th> <th>2037.7.30</th> <th>2037.8.6</th> <th>2037.8.13</th> <th>2037.8.20</th> <th>2037.8.27</th> <th>2037.9.3</th> <th>2037.9.10</th> <th>2037.9.17</th> <th>2037.9.24</th> <th>2037.10.1</th> <th>2037.10.8</th> <th>2037.10.15</th> <th>2037.10.22</th> <th>2037.10.29</th> <th>2037.11.5</th> <th>2037.11.12</th> <th>2037.11.19</th> <th>2037.11.26</th> <th>2037.12.3</th> <th>2037.12.10</th> <th>2037.12.17</th> <th>2037.12.24</th> <th>2038.1.1</th> <th>2038.1.8</th> <th>2038.1.15</th> <th>2038.1.22</th> <th>2038.1.29</th> <th>2038.2.5</th> <th>2038.2.12</th> <th>2038.2.19</th> <th>2038.2.26</th> <th>2038.3.5</th> <th>2038.3.12</th> <th>2038.3.19</th> <th>2038.3.26</th> <th>2038.4.2</th> <th>2038.4.9</th> <th>2038.4.16</th> <th>2038.4.23</th> <th>2038.4.30</th> <th>2038.5.7</th> <th>2038.5.14</th> <th>2038.5.21</th> <th>2038.5.28</th> <th>2038.6.4</th> <th>2038.6.11</th> <th>2038.6.18</th> <th>2038.6.25</th> <th>2038.7.2</th> <th>2038.7.9</th> <th>2038.7.16</th> <th>2038.7.23</th> <th>2038.7.30</th> <th>2038.8.6</th> <th>2038.8.13</th> <th>2038.8.20</th> <th>2038.8.27</th> <th>2038.9.3</th> <th>2038.9.10</th> <th>2038.9.17</th> <th>2038.9.24</th> <th>2038.10.1</th> <th>2038.10.8</th> <th>2038.10.15</th> <th>2038.10.22</th> <th>2038.10.29</th> <th>2038.11.5</th> <th>2038.11.12</th> <th>2038.11.19</th> <th>2038.11.26</th> <th>2038.12.3</th> <th>2038.12.10</th> <th>2038.12.17</th> <th>2038.12.24</th> <th>2039.1.1</th> <th>2039.1.8</th> <th>2039.1.15</th> <th>2039.1.22</th> <th>2039.1.29</th> <th>2039.2.5</th> <th>2039.2.12</th> <th>2039.2.19</th> <th>2039.2.26</th> <th>2039.3.5</th> <th>2039.3.12</th> <th>2039.3.19</th> <th>2039.3.26</th> <th>2039.4.2</th> <th>2039.4.9</th> <th>2039.4.16</th> <th>2039.4.23</th> <th>2039.4.30</th> <th>2039.5.7</th> <th>2039.5.14</th> <th>2039.5.21</th> <th>2039.5.28</th> <th>2039.6.4</th> <th>2039.6.11</th> <th>2039.6.18</th> <th>2039.6.25</th> <th>2039.7.2</th> <th>2039.7.9</th> <th>2039.7.16</th> <th>2039.7.23</th> <th>2039.7.30</th> <th>2039.8.6</th> <th>2039.8.13</th> <th>2039.8.20</th> <th>2039.8.27</th> <th>2039.9.3</th> <th>2039.9.10</th> <th>2039.9.17</th> <th>2039.9.24</th> <th>2039.10.1</th> <th>2039.10.8</th> <th>2039.10.15</th> <th>2039.10.22</th> <th>2039.10.29</th> <th>2039.11.5</th> <th>2039.11.12</th> <th>2039.11.19</th> <th>2039.11.26</th> <th>2039.12.3</th> <th>2039.12.10</th> <th>2039.12.17</th> <th>2039.12.24</th> <th>2040.1.1</th> <th>2040.1.8</th> <th>2040.1.15</th> <th>2040.1.22</th> <th>2040.1.29</th> <th>2040.2.5</th> <th>2040.2.12</th> <th>2040.2.19</th> <th>2040.2.26</th> <th>2040.3.5</th> <th>2040.3.12</th> <th>2040.3.19</th> <th></th></tr></thead></table>	生物種	2025.4.18	2025.4.26	2025.5.31	2025.6.9	2025.6.16	2025.6.23	2025.6.30	2025.7.7	2025.7.14	2025.7.21	2025.7.28	2025.8.4	2025.8.11	2025.8.18	2025.8.25	2025.9.1	2025.9.8	2025.9.15	2025.9.22	2025.9.29	2025.10.6	2025.10.13	2025.10.20	2025.10.27	2025.11.3	2025.11.10	2025.11.17	2025.11.24	2025.12.1	2025.12.8	2025.12.15	2025.12.22	2025.12.29	2026.1.5	2026.1.12	2026.1.19	2026.1.26	2026.2.2	2026.2.9	2026.2.16	2026.2.23	2026.2.29	2026.3.6	2026.3.13	2026.3.20	2026.3.27	2026.4.3	2026.4.10	2026.4.17	2026.4.24	2026.5.1	2026.5.8	2026.5.15	2026.5.22	2026.5.29	2026.6.5	2026.6.12	2026.6.19	2026.6.26	2026.7.3	2026.7.10	2026.7.17	2026.7.24	2026.7.31	2026.8.7	2026.8.14	2026.8.21	2026.8.28	2026.9.4	2026.9.11	2026.9.18	2026.9.25	2026.10.2	2026.10.9	2026.10.16	2026.10.23	2026.10.30	2026.11.6	2026.11.13	2026.11.20	2026.11.27	2026.12.4	2026.12.11	2026.12.18	2026.12.25	2027.1.1	2027.1.8	2027.1.15	2027.1.22	2027.1.29	2027.2.5	2027.2.12	2027.2.19	2027.2.26	2027.3.5	2027.3.12	2027.3.19	2027.3.26	2027.4.2	2027.4.9	2027.4.16	2027.4.23	2027.4.30	2027.5.7	2027.5.14	2027.5.21	2027.5.28	2027.6.4	2027.6.11	2027.6.18	2027.6.25	2027.7.2	2027.7.9	2027.7.16	2027.7.23	2027.7.30	2027.8.6	2027.8.13	2027.8.20	2027.8.27	2027.9.3	2027.9.10	2027.9.17	2027.9.24	2027.10.1	2027.10.8	2027.10.15	2027.10.22	2027.10.29	2027.11.5	2027.11.12	2027.11.19	2027.11.26	2027.12.3	2027.12.10	2027.12.17	2027.12.24	2028.1.1	2028.1.8	2028.1.15	2028.1.22	2028.1.29	2028.2.5	2028.2.12	2028.2.19	2028.2.26	2028.3.5	2028.3.12	2028.3.19	2028.3.26	2028.4.2	2028.4.9	2028.4.16	2028.4.23	2028.4.30	2028.5.7	2028.5.14	2028.5.21	2028.5.28	2028.6.4	2028.6.11	2028.6.18	2028.6.25	2028.7.2	2028.7.9	2028.7.16	2028.7.23	2028.7.30	2028.8.6	2028.8.13	2028.8.20	2028.8.27	2028.9.3	2028.9.10	2028.9.17	2028.9.24	2028.10.1	2028.10.8	2028.10.15	2028.10.22	2028.10.29	2028.11.5	2028.11.12	2028.11.19	2028.11.26	2028.12.3	2028.12.10	2028.12.17	2028.12.24	2029.1.1	2029.1.8	2029.1.15	2029.1.22	2029.1.29	2029.2.5	2029.2.12	2029.2.19	2029.2.26	2029.3.5	2029.3.12	2029.3.19	2029.3.26	2029.4.2	2029.4.9	2029.4.16	2029.4.23	2029.4.30	2029.5.7	2029.5.14	2029.5.21	2029.5.28	2029.6.4	2029.6.11	2029.6.18	2029.6.25	2029.7.2	2029.7.9	2029.7.16	2029.7.23	2029.7.30	2029.8.6	2029.8.13	2029.8.20	2029.8.27	2029.9.3	2029.9.10	2029.9.17	2029.9.24	2029.10.1	2029.10.8	2029.10.15	2029.10.22	2029.10.29	2029.11.5	2029.11.12	2029.11.19	2029.11.26	2029.12.3	2029.12.10	2029.12.17	2029.12.24	2030.1.1	2030.1.8	2030.1.15	2030.1.22	2030.1.29	2030.2.5	2030.2.12	2030.2.19	2030.2.26	2030.3.5	2030.3.12	2030.3.19	2030.3.26	2030.4.2	2030.4.9	2030.4.16	2030.4.23	2030.4.30	2030.5.7	2030.5.14	2030.5.21	2030.5.28	2030.6.4	2030.6.11	2030.6.18	2030.6.25	2030.7.2	2030.7.9	2030.7.16	2030.7.23	2030.7.30	2030.8.6	2030.8.13	2030.8.20	2030.8.27	2030.9.3	2030.9.10	2030.9.17	2030.9.24	2030.10.1	2030.10.8	2030.10.15	2030.10.22	2030.10.29	2030.11.5	2030.11.12	2030.11.19	2030.11.26	2030.12.3	2030.12.10	2030.12.17	2030.12.24	2031.1.1	2031.1.8	2031.1.15	2031.1.22	2031.1.29	2031.2.5	2031.2.12	2031.2.19	2031.2.26	2031.3.5	2031.3.12	2031.3.19	2031.3.26	2031.4.2	2031.4.9	2031.4.16	2031.4.23	2031.4.30	2031.5.7	2031.5.14	2031.5.21	2031.5.28	2031.6.4	2031.6.11	2031.6.18	2031.6.25	2031.7.2	2031.7.9	2031.7.16	2031.7.23	2031.7.30	2031.8.6	2031.8.13	2031.8.20	2031.8.27	2031.9.3	2031.9.10	2031.9.17	2031.9.24	2031.10.1	2031.10.8	2031.10.15	2031.10.22	2031.10.29	2031.11.5	2031.11.12	2031.11.19	2031.11.26	2031.12.3	2031.12.10	2031.12.17	2031.12.24	2032.1.1	2032.1.8	2032.1.15	2032.1.22	2032.1.29	2032.2.5	2032.2.12	2032.2.19	2032.2.26	2032.3.5	2032.3.12	2032.3.19	2032.3.26	2032.4.2	2032.4.9	2032.4.16	2032.4.23	2032.4.30	2032.5.7	2032.5.14	2032.5.21	2032.5.28	2032.6.4	2032.6.11	2032.6.18	2032.6.25	2032.7.2	2032.7.9	2032.7.16	2032.7.23	2032.7.30	2032.8.6	2032.8.13	2032.8.20	2032.8.27	2032.9.3	2032.9.10	2032.9.17	2032.9.24	2032.10.1	2032.10.8	2032.10.15	2032.10.22	2032.10.29	2032.11.5	2032.11.12	2032.11.19	2032.11.26	2032.12.3	2032.12.10	2032.12.17	2032.12.24	2033.1.1	2033.1.8	2033.1.15	2033.1.22	2033.1.29	2033.2.5	2033.2.12	2033.2.19	2033.2.26	2033.3.5	2033.3.12	2033.3.19	2033.3.26	2033.4.2	2033.4.9	2033.4.16	2033.4.23	2033.4.30	2033.5.7	2033.5.14	2033.5.21	2033.5.28	2033.6.4	2033.6.11	2033.6.18	2033.6.25	2033.7.2	2033.7.9	2033.7.16	2033.7.23	2033.7.30	2033.8.6	2033.8.13	2033.8.20	2033.8.27	2033.9.3	2033.9.10	2033.9.17	2033.9.24	2033.10.1	2033.10.8	2033.10.15	2033.10.22	2033.10.29	2033.11.5	2033.11.12	2033.11.19	2033.11.26	2033.12.3	2033.12.10	2033.12.17	2033.12.24	2034.1.1	2034.1.8	2034.1.15	2034.1.22	2034.1.29	2034.2.5	2034.2.12	2034.2.19	2034.2.26	2034.3.5	2034.3.12	2034.3.19	2034.3.26	2034.4.2	2034.4.9	2034.4.16	2034.4.23	2034.4.30	2034.5.7	2034.5.14	2034.5.21	2034.5.28	2034.6.4	2034.6.11	2034.6.18	2034.6.25	2034.7.2	2034.7.9	2034.7.16	2034.7.23	2034.7.30	2034.8.6	2034.8.13	2034.8.20	2034.8.27	2034.9.3	2034.9.10	2034.9.17	2034.9.24	2034.10.1	2034.10.8	2034.10.15	2034.10.22	2034.10.29	2034.11.5	2034.11.12	2034.11.19	2034.11.26	2034.12.3	2034.12.10	2034.12.17	2034.12.24	2035.1.1	2035.1.8	2035.1.15	2035.1.22	2035.1.29	2035.2.5	2035.2.12	2035.2.19	2035.2.26	2035.3.5	2035.3.12	2035.3.19	2035.3.26	2035.4.2	2035.4.9	2035.4.16	2035.4.23	2035.4.30	2035.5.7	2035.5.14	2035.5.21	2035.5.28	2035.6.4	2035.6.11	2035.6.18	2035.6.25	2035.7.2	2035.7.9	2035.7.16	2035.7.23	2035.7.30	2035.8.6	2035.8.13	2035.8.20	2035.8.27	2035.9.3	2035.9.10	2035.9.17	2035.9.24	2035.10.1	2035.10.8	2035.10.15	2035.10.22	2035.10.29	2035.11.5	2035.11.12	2035.11.19	2035.11.26	2035.12.3	2035.12.10	2035.12.17	2035.12.24	2036.1.1	2036.1.8	2036.1.15	2036.1.22	2036.1.29	2036.2.5	2036.2.12	2036.2.19	2036.2.26	2036.3.5	2036.3.12	2036.3.19	2036.3.26	2036.4.2	2036.4.9	2036.4.16	2036.4.23	2036.4.30	2036.5.7	2036.5.14	2036.5.21	2036.5.28	2036.6.4	2036.6.11	2036.6.18	2036.6.25	2036.7.2	2036.7.9	2036.7.16	2036.7.23	2036.7.30	2036.8.6	2036.8.13	2036.8.20	2036.8.27	2036.9.3	2036.9.10	2036.9.17	2036.9.24	2036.10.1	2036.10.8	2036.10.15	2036.10.22	2036.10.29	2036.11.5	2036.11.12	2036.11.19	2036.11.26	2036.12.3	2036.12.10	2036.12.17	2036.12.24	2037.1.1	2037.1.8	2037.1.15	2037.1.22	2037.1.29	2037.2.5	2037.2.12	2037.2.19	2037.2.26	2037.3.5	2037.3.12	2037.3.19	2037.3.26	2037.4.2	2037.4.9	2037.4.16	2037.4.23	2037.4.30	2037.5.7	2037.5.14	2037.5.21	2037.5.28	2037.6.4	2037.6.11	2037.6.18	2037.6.25	2037.7.2	2037.7.9	2037.7.16	2037.7.23	2037.7.30	2037.8.6	2037.8.13	2037.8.20	2037.8.27	2037.9.3	2037.9.10	2037.9.17	2037.9.24	2037.10.1	2037.10.8	2037.10.15	2037.10.22	2037.10.29	2037.11.5	2037.11.12	2037.11.19	2037.11.26	2037.12.3	2037.12.10	2037.12.17	2037.12.24	2038.1.1	2038.1.8	2038.1.15	2038.1.22	2038.1.29	2038.2.5	2038.2.12	2038.2.19	2038.2.26	2038.3.5	2038.3.12	2038.3.19	2038.3.26	2038.4.2	2038.4.9	2038.4.16	2038.4.23	2038.4.30	2038.5.7	2038.5.14	2038.5.21	2038.5.28	2038.6.4	2038.6.11	2038.6.18	2038.6.25	2038.7.2	2038.7.9	2038.7.16	2038.7.23	2038.7.30	2038.8.6	2038.8.13	2038.8.20	2038.8.27	2038.9.3	2038.9.10	2038.9.17	2038.9.24	2038.10.1	2038.10.8	2038.10.15	2038.10.22	2038.10.29	2038.11.5	2038.11.12	2038.11.19	2038.11.26	2038.12.3	2038.12.10	2038.12.17	2038.12.24	2039.1.1	2039.1.8	2039.1.15	2039.1.22	2039.1.29	2039.2.5	2039.2.12	2039.2.19	2039.2.26	2039.3.5	2039.3.12	2039.3.19	2039.3.26	2039.4.2	2039.4.9	2039.4.16	2039.4.23	2039.4.30	2039.5.7	2039.5.14	2039.5.21	2039.5.28	2039.6.4	2039.6.11	2039.6.18	2039.6.25	2039.7.2	2039.7.9	2039.7.16	2039.7.23	2039.7.30	2039.8.6	2039.8.13	2039.8.20	2039.8.27	2039.9.3	2039.9.10	2039.9.17	2039.9.24	2039.10.1	2039.10.8	2039.10.15	2039.10.22	2039.10.29	2039.11.5	2039.11.12	2039.11.19	2039.11.26	2039.12.3	2039.12.10	2039.12.17	2039.12.24	2040.1.1	2040.1.8	2040.1.15	2040.1.22	2040.1.29	2040.2.5	2040.2.12	2040.2.19	2040.2.26	2040.3.5	2040.3.12	2040.3.19	
生物種	2025.4.18	2025.4.26	2025.5.31	2025.6.9	2025.6.16	2025.6.23	2025.6.30	2025.7.7	2025.7.14	2025.7.21	2025.7.28	2025.8.4	2025.8.11	2025.8.18	2025.8.25	2025.9.1	2025.9.8	2025.9.15	2025.9.22	2025.9.29	2025.10.6	2025.10.13	2025.10.20	2025.10.27	2025.11.3	2025.11.10	2025.11.17	2025.11.24	2025.12.1	2025.12.8	2025.12.15	2025.12.22	2025.12.29	2026.1.5	2026.1.12	2026.1.19	2026.1.26	2026.2.2	2026.2.9	2026.2.16	2026.2.23	2026.2.29	2026.3.6	2026.3.13	2026.3.20	2026.3.27	2026.4.3	2026.4.10	2026.4.17	2026.4.24	2026.5.1	2026.5.8	2026.5.15	2026.5.22	2026.5.29	2026.6.5	2026.6.12	2026.6.19	2026.6.26	2026.7.3	2026.7.10	2026.7.17	2026.7.24	2026.7.31	2026.8.7	2026.8.14	2026.8.21	2026.8.28	2026.9.4	2026.9.11	2026.9.18	2026.9.25	2026.10.2	2026.10.9	2026.10.16	2026.10.23	2026.10.30	2026.11.6	2026.11.13	2026.11.20	2026.11.27	2026.12.4	2026.12.11	2026.12.18	2026.12.25	2027.1.1	2027.1.8	2027.1.15	2027.1.22	2027.1.29	2027.2.5	2027.2.12	2027.2.19	2027.2.26	2027.3.5	2027.3.12	2027.3.19	2027.3.26	2027.4.2	2027.4.9	2027.4.16	2027.4.23	2027.4.30	2027.5.7	2027.5.14	2027.5.21	2027.5.28	2027.6.4	2027.6.11	2027.6.18	2027.6.25	2027.7.2	2027.7.9	2027.7.16	2027.7.23	2027.7.30	2027.8.6	2027.8.13	2027.8.20	2027.8.27	2027.9.3	2027.9.10	2027.9.17	2027.9.24	2027.10.1	2027.10.8	2027.10.15	2027.10.22	2027.10.29	2027.11.5	2027.11.12	2027.11.19	2027.11.26	2027.12.3	2027.12.10	2027.12.17	2027.12.24	2028.1.1	2028.1.8	2028.1.15	2028.1.22	2028.1.29	2028.2.5	2028.2.12	2028.2.19	2028.2.26	2028.3.5	2028.3.12	2028.3.19	2028.3.26	2028.4.2	2028.4.9	2028.4.16	2028.4.23	2028.4.30	2028.5.7	2028.5.14	2028.5.21	2028.5.28	2028.6.4	2028.6.11	2028.6.18	2028.6.25	2028.7.2	2028.7.9	2028.7.16	2028.7.23	2028.7.30	2028.8.6	2028.8.13	2028.8.20	2028.8.27	2028.9.3	2028.9.10	2028.9.17	2028.9.24	2028.10.1	2028.10.8	2028.10.15	2028.10.22	2028.10.29	2028.11.5	2028.11.12	2028.11.19	2028.11.26	2028.12.3	2028.12.10	2028.12.17	2028.12.24	2029.1.1	2029.1.8	2029.1.15	2029.1.22	2029.1.29	2029.2.5	2029.2.12	2029.2.19	2029.2.26	2029.3.5	2029.3.12	2029.3.19	2029.3.26	2029.4.2	2029.4.9	2029.4.16	2029.4.23	2029.4.30	2029.5.7	2029.5.14	2029.5.21	2029.5.28	2029.6.4	2029.6.11	2029.6.18	2029.6.25	2029.7.2	2029.7.9	2029.7.16	2029.7.23	2029.7.30	2029.8.6	2029.8.13	2029.8.20	2029.8.27	2029.9.3	2029.9.10	2029.9.17	2029.9.24	2029.10.1	2029.10.8	2029.10.15	2029.10.22	2029.10.29	2029.11.5	2029.11.12	2029.11.19	2029.11.26	2029.12.3	2029.12.10	2029.12.17	2029.12.24	2030.1.1	2030.1.8	2030.1.15	2030.1.22	2030.1.29	2030.2.5	2030.2.12	2030.2.19	2030.2.26	2030.3.5	2030.3.12	2030.3.19	2030.3.26	2030.4.2	2030.4.9	2030.4.16	2030.4.23	2030.4.30	2030.5.7	2030.5.14	2030.5.21	2030.5.28	2030.6.4	2030.6.11	2030.6.18	2030.6.25	2030.7.2	2030.7.9	2030.7.16	2030.7.23	2030.7.30	2030.8.6	2030.8.13	2030.8.20	2030.8.27	2030.9.3	2030.9.10	2030.9.17	2030.9.24	2030.10.1	2030.10.8	2030.10.15	2030.10.22	2030.10.29	2030.11.5	2030.11.12	2030.11.19	2030.11.26	2030.12.3	2030.12.10	2030.12.17	2030.12.24	2031.1.1	2031.1.8	2031.1.15	2031.1.22	2031.1.29	2031.2.5	2031.2.12	2031.2.19	2031.2.26	2031.3.5	2031.3.12	2031.3.19	2031.3.26	2031.4.2	2031.4.9	2031.4.16	2031.4.23	2031.4.30	2031.5.7	2031.5.14	2031.5.21	2031.5.28	2031.6.4	2031.6.11	2031.6.18	2031.6.25	2031.7.2	2031.7.9	2031.7.16	2031.7.23	2031.7.30	2031.8.6	2031.8.13	2031.8.20	2031.8.27	2031.9.3	2031.9.10	2031.9.17	2031.9.24	2031.10.1	2031.10.8	2031.10.15	2031.10.22	2031.10.29	2031.11.5	2031.11.12	2031.11.19	2031.11.26	2031.12.3	2031.12.10	2031.12.17	2031.12.24	2032.1.1	2032.1.8	2032.1.15	2032.1.22	2032.1.29	2032.2.5	2032.2.12	2032.2.19	2032.2.26	2032.3.5	2032.3.12	2032.3.19	2032.3.26	2032.4.2	2032.4.9	2032.4.16	2032.4.23	2032.4.30	2032.5.7	2032.5.14	2032.5.21	2032.5.28	2032.6.4	2032.6.11	2032.6.18	2032.6.25	2032.7.2	2032.7.9	2032.7.16	2032.7.23	2032.7.30	2032.8.6	2032.8.13	2032.8.20	2032.8.27	2032.9.3	2032.9.10	2032.9.17	2032.9.24	2032.10.1	2032.10.8	2032.10.15	2032.10.22	2032.10.29	2032.11.5	2032.11.12	2032.11.19	2032.11.26	2032.12.3	2032.12.10	2032.12.17	2032.12.24	2033.1.1	2033.1.8	2033.1.15	2033.1.22	2033.1.29	2033.2.5	2033.2.12	2033.2.19	2033.2.26	2033.3.5	2033.3.12	2033.3.19	2033.3.26	2033.4.2	2033.4.9	2033.4.16	2033.4.23	2033.4.30	2033.5.7	2033.5.14	2033.5.21	2033.5.28	2033.6.4	2033.6.11	2033.6.18	2033.6.25	2033.7.2	2033.7.9	2033.7.16	2033.7.23	2033.7.30	2033.8.6	2033.8.13	2033.8.20	2033.8.27	2033.9.3	2033.9.10	2033.9.17	2033.9.24	2033.10.1	2033.10.8	2033.10.15	2033.10.22	2033.10.29	2033.11.5	2033.11.12	2033.11.19	2033.11.26	2033.12.3	2033.12.10	2033.12.17	2033.12.24	2034.1.1	2034.1.8	2034.1.15	2034.1.22	2034.1.29	2034.2.5	2034.2.12	2034.2.19	2034.2.26	2034.3.5	2034.3.12	2034.3.19	2034.3.26	2034.4.2	2034.4.9	2034.4.16	2034.4.23	2034.4.30	2034.5.7	2034.5.14	2034.5.21	2034.5.28	2034.6.4	2034.6.11	2034.6.18	2034.6.25	2034.7.2	2034.7.9	2034.7.16	2034.7.23	2034.7.30	2034.8.6	2034.8.13	2034.8.20	2034.8.27	2034.9.3	2034.9.10	2034.9.17	2034.9.24	2034.10.1	2034.10.8	2034.10.15	2034.10.22	2034.10.29	2034.11.5	2034.11.12	2034.11.19	2034.11.26	2034.12.3	2034.12.10	2034.12.17	2034.12.24	2035.1.1	2035.1.8	2035.1.15	2035.1.22	2035.1.29	2035.2.5	2035.2.12	2035.2.19	2035.2.26	2035.3.5	2035.3.12	2035.3.19	2035.3.26	2035.4.2	2035.4.9	2035.4.16	2035.4.23	2035.4.30	2035.5.7	2035.5.14	2035.5.21	2035.5.28	2035.6.4	2035.6.11	2035.6.18	2035.6.25	2035.7.2	2035.7.9	2035.7.16	2035.7.23	2035.7.30	2035.8.6	2035.8.13	2035.8.20	2035.8.27	2035.9.3	2035.9.10	2035.9.17	2035.9.24	2035.10.1	2035.10.8	2035.10.15	2035.10.22	2035.10.29	2035.11.5	2035.11.12	2035.11.19	2035.11.26	2035.12.3	2035.12.10	2035.12.17	2035.12.24	2036.1.1	2036.1.8	2036.1.15	2036.1.22	2036.1.29	2036.2.5	2036.2.12	2036.2.19	2036.2.26	2036.3.5	2036.3.12	2036.3.19	2036.3.26	2036.4.2	2036.4.9	2036.4.16	2036.4.23	2036.4.30	2036.5.7	2036.5.14	2036.5.21	2036.5.28	2036.6.4	2036.6.11	2036.6.18	2036.6.25	2036.7.2	2036.7.9	2036.7.16	2036.7.23	2036.7.30	2036.8.6	2036.8.13	2036.8.20	2036.8.27	2036.9.3	2036.9.10	2036.9.17	2036.9.24	2036.10.1	2036.10.8	2036.10.15	2036.10.22	2036.10.29	2036.11.5	2036.11.12	2036.11.19	2036.11.26	2036.12.3	2036.12.10	2036.12.17	2036.12.24	2037.1.1	2037.1.8	2037.1.15	2037.1.22	2037.1.29	2037.2.5	2037.2.12	2037.2.19	2037.2.26	2037.3.5	2037.3.12	2037.3.19	2037.3.26	2037.4.2	2037.4.9	2037.4.16	2037.4.23	2037.4.30	2037.5.7	2037.5.14	2037.5.21	2037.5.28	2037.6.4	2037.6.11	2037.6.18	2037.6.25	2037.7.2	2037.7.9	2037.7.16	2037.7.23	2037.7.30	2037.8.6	2037.8.13	2037.8.20	2037.8.27	2037.9.3	2037.9.10	2037.9.17	2037.9.24	2037.10.1	2037.10.8	2037.10.15	2037.10.22	2037.10.29	2037.11.5	2037.11.12	2037.11.19	2037.11.26	2037.12.3	2037.12.10	2037.12.17	2037.12.24	2038.1.1	2038.1.8	2038.1.15	2038.1.22	2038.1.29	2038.2.5	2038.2.12	2038.2.19	2038.2.26	2038.3.5	2038.3.12	2038.3.19	2038.3.26	2038.4.2	2038.4.9	2038.4.16	2038.4.23	2038.4.30	2038.5.7	2038.5.14	2038.5.21	2038.5.28	2038.6.4	2038.6.11	2038.6.18	2038.6.25	2038.7.2	2038.7.9	2038.7.16	2038.7.23	2038.7.30	2038.8.6	2038.8.13	2038.8.20	2038.8.27	2038.9.3	2038.9.10	2038.9.17	2038.9.24	2038.10.1	2038.10.8	2038.10.15	2038.10.22	2038.10.29	2038.11.5	2038.11.12	2038.11.19	2038.11.26	2038.12.3	2038.12.10	2038.12.17	2038.12.24	2039.1.1	2039.1.8	2039.1.15	2039.1.22	2039.1.29	2039.2.5	2039.2.12	2039.2.19	2039.2.26	2039.3.5	2039.3.12	2039.3.19	2039.3.26	2039.4.2	2039.4.9	2039.4.16	2039.4.23	2039.4.30	2039.5.7	2039.5.14	2039.5.21	2039.5.28	2039.6.4	2039.6.11	2039.6.18	2039.6.25	2039.7.2	2039.7.9	2039.7.16	2039.7.23	2039.7.30	2039.8.6	2039.8.13	2039.8.20	2039.8.27	2039.9.3	2039.9.10	2039.9.17	2039.9.24	2039.10.1	2039.10.8	2039.10.15	2039.10.22	2039.10.29	2039.11.5	2039.11.12	2039.11.19	2039.11.26	2039.12.3	2039.12.10	2039.12.17	2039.12.24	2040.1.1	2040.1.8	2040.1.15	2040.1.22	2040.1.29	2040.2.5	2040.2.12	2040.2.19	2040.2.26	2040.3.5	2040.3.12	2040.3.19		

【参考資料 1-3】 バイオ田んぼプロジェクト 講演資料（6/13）

タガメの「マイ産卵木」設置



夏のタガメ大調査&観察会



自然や生きものへの愛着を育む工夫

- ✓みんなで一緒に環境づくりや産卵場づくりを行う
- ✓その後の変化を共有&観察会実施（コミュニティ化）
- ✓変化をみんなで調査する（市民参加型調査）



「隠して守る」のではなく、「みんなで守る」を目指したい。
そのためには地域住民やメンバーが愛着を持ち、**地域の宝**となることが重要

生きものが増えていくことを一緒に喜べる仕掛けづくり
子供も参加できる簡単な作業

自然の見える化（モニタリング） 2026年～ テーマ検証

✓水生動物に対するマルチトープの中干し時における逃避効果の再検証（富山県立大学）

メタン排出抑制の観点から近年推奨されている「中干し期間延長」は生物多様性保全とトレードオフの関係にあると考えられている。

その代替策として「水田ビオトープ（マルチトープ）」「江」の設置が注目されている。

⇒バイオ田んぼは温暖化対策と生物多様性保全の両立を可能にする農法となる可能性

⇒調査の合間にビオトープづくりも
お手伝いいただきました！
学生のパワーはすごい！



1. 「バイオ田んぼプロジェクト」 ～自然の豊かさを地域の豊かさへつなげる～



目指していること：エーゼロがモデル（仕組み）を作り、地域に広げていく。
地域の自然を**見える化**し、持続可能な利用をすることで
豊かな地域へつなげる。



- ⑥ 地域全体に取組が拡大
- ⑦ 関係人口が増加

- ③ 寄付加価値化
- ④ イベント実施
- ⑤ 環境教育

どんな仕掛けづくりが有効？

⇒地域ごとに異なる

- ① 場所づくり・再生
- ② 生物調査



【参考資料 1-3】 バイオ田んぼプロジェクト 講演資料（7/13）

田んぼの価値を最大化する仕掛け

例えば...

①食の恵み

お米だけでなく、田んぼから得られる美味しい恵み

②遊びのフィールド・体験

田んぼは安心して遊べる身近な自然

「楽しい」「美味しい」「嬉しい」
 いづれも、体験を通じてサービス化。
 いかに高付加価値な体験設計をできるか？



①食の恵み

田んぼの価値を最大化する。



①食の恵み

田んぼの価値を最大化する。



黒豆（畔豆）



①食の恵み

田んぼの価値を最大化する。



②遊びのフィールド

思いっきり泥んこ遊び

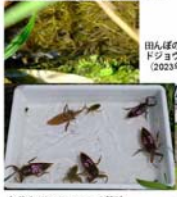


②遊びのフィールド

水路や田んぼで生き物探し（ガサガサ）



【参考資料 1-3】 バイオ田んぼプロジェクト 講演資料 (8/13)

②遊びのフィールド 真夏は田んぼ裏の清流で川遊び！  	②遊びのフィールド ビオトープや江などの環境づくり体験  
環境 ○絶滅危惧種を含む希少種の増加 ○ドジョウやメダカ、オタマジャクシ等の大幅増加 ○年間を通して水生昆虫や魚類が生息 田んぼの水口に集まるメダカやドジョウの稚魚 (2023年～)  タガメ (絶滅危惧目類) の繁殖 (2024年～)  コウノトリの飛来 (2025年)  地域・社会 ○小学校や教育団体と生きもの調査や観察会開催 ○「遊び」「体験」を入門とした関係人口の増加 小学校の環境教育の場として活用  大人も子供も生きものと遊ぶ風景 	地域の公教育や福祉施設との連携 ✓身近な自然に親しむ機会や場の提供 (地域貢献の一環として) ✓身体性の回復 ✓世代間の交流機会創出 身近な自然の再発見 気軽に遊べる   
環境 ×教育 地域の小学校の生徒に向けて生きもの観察会、川遊び等を実施。小学生から「希少種保全に貢献したい」との提案があり、タガメ保全活動が昨年からスタート。  モリアオガエルの観察・卵塊調査  タガメの観察・生息地保全 地域の魅力の再発見 → 子供が主体的に発信・活動することで自然や生きものが「地域の宝」になっていく。	1. 「バイオ田んぼプロジェクト」 ～中山間地の農業を持続可能にするには？～ 関係人口創出？ ブランド化？ 省コスト化？ 6次産業化？ 体験価値？ 高付加価値化？ 有機農業？

【参考資料 1-3】 バイオ田んぼプロジェクト 講演資料 (9/13)

環境 × 農業 ・地域資源を活用した環境保全型農業による省コスト化の推進 (レンゲ緑肥やたい肥の活用、減農薬栽培) ・環境負荷低減による高付加価値化にむけて (農水省の「見えるか実証」に参加。2023年は両項目で★3つ)  環境取組をしっかりと見える化し、PRすることで高付加価値化は可能か	6次化や新たな販路開拓  100%西栗倉産米から生まれた日本酒
バイオ田んぼのお酒 バイオ田んぼプロジェクト × 土田酒造  目指したのは「飲みやすさ、お米本来の味わいが楽しめる味わい深いお酒」 低糖米でしっかり味わいながらも後味軽く飲みやすいお酒に仕上げました。 環境に配慮も、お米づくりにこだわることを実現する「育て時節するのではなく、田んぼで時節する酒」 米と酒の造り手のこだわりの詰まった1本をぜひご賞味ください。 【こだわりポイント】 ✓西栗倉村産「亀の尾」を100%使用 ✓蔵付き酵母で醸す江戸時代から続く伝統的製法「生原仕込み」 ✓原材料はお米と水のみ。添加物一切不使用。 ✓85%という低糖米で酒の味わいをそのままお酒に。 ✓お米の味わいをしっかりと煮しめて、後味はすっきり軽やか。 ✓ウナギやジエと個性抜群の煮中酒。 ✓置くほどに味わいに深みが増す変化が楽しめる日本酒。	子供たちのイラストをラベルに 
モノを売る？ コト（体験）を売る？ ・ブランド化の難しさ（他との差別化、商品の作り込み、プロモーション...） → 時間がかかる＆安定供給の壁 体験価値を高めることが、ファンづくりにつながり、最終的にモノを売っていくことにもつながるのではないかと ✓場づくりの大切さ ✓いかに高単価な体験をつくれるか？（そこを選ぶ理由をつくる） ✓コミュニティ化することでファン度を高める	豊かな自然環境や美しい景観、地域のコミュニティ等を生かす Community Supported Agriculture（地域支援型農業）という考え方 しきしまの家「自然農園のコンセプト」  生産者と消費者がつながって、双方が豊かになる しきしまの家 自然農園のコンセプト 生産者と消費者がつながって、双方が豊かになる 新しい家族 自然農園のコンセプト 生産者と消費者がつながって、双方が豊かになる 生産者 消費者 Farm to table Table to farm しきしまの家「自然農園」のイメージ 豊田市 しきしまの家「自然農園」 三鷹市 鴨志田農園「サーキュラーエコノミー型CSA」 関係人口を生み、西栗倉ファンになってもうモデルを構築できないか検討中。

【参考資料 1-3】 バイオ田んぼプロジェクト 講演資料（10/13）

【toC向けサービス】田んぼの「楽しい」「美味しい」「嬉しい」を増やし分かち合う
コミュニティ「バイオ田んぼクラブ」(2025年～)

農家の負担軽減
農地維持管理・生きもの保護
(バイオープ管理、除草)

田んぼの手間の軽減
・田んぼでの体験
・生きもの保全活動
・米、日本酒

ファンづくり
・ファン
・ファン

まずは体験でスタート

会員数が増やしながら、
価値を地域に還元し、
バイオ田んぼ取組農家を助ける

生物多様性保全
水環境保全
地域経済循環

取組農家所得の向上
ウェルビーイングの向上

バイオ田んぼクラブ (2025年～)

- ・みんなで生きものだらけの田んぼを作ることを楽しむ
- ・多様な恵みを分かち合う

✓ここでしかできない
ディープな体験
✓交流や繋がり
✓ファンコミュニティ

体験や学びの場として田んぼを開放し、
みんなで楽しみながら価値を分かち合う
「バイオ田んぼクラブ」を2026年からスタート
田んぼの手間の軽減を増やし、分かち合うコミュニティ型農業
現在、2026年度会員募集中です！

「好奇心」が爆発
バイオ田んぼクラブ
2026年度
会員募集！

バイオ田んぼクラブ

＜提供価値＞

- ・「自然とつながる暮らし」...米づくりを通じて自然や生きものと触れる楽しさ、癒しさを味わえる
- ・「安心」「自給自足」...自分で食べる米を自分で作る。生産できた作物はみんながシェア。

＜遊び方＞

- ・稲刈り体験の少ない米づくりや田んぼづくりをみんなで実施
- ・バイオープ部分での山菜採りや雑草など好きな作物を栽培にチャレンジできる
- ・作業後の打ち上げ、参加者交流

＜ターゲット＞

- ・子供に自然体験をさせたい親
- ・「実物に触れたい、里山で遊んでみたい」

みんなで場所を作って、そこで生まれる価値を分かち合う
自分が食べるお米を自分で作れる安心感

バイオ田んぼクラブ

〇目指す事業像：メンバーが増えるほど、環境負荷の少ない農業が広がる

✓1反あたりの予想収量は5俵×60kg=300kg
1反あたりを10組で耕作すると、一組あたり30kg（1袋）
10組増えれば、農地1反でバイオ田んぼが広がるモデル

✓委託作業を減らし、手間がかかっても自分たちで「楽しみながら作る」

✓収穫物はみんなで分け合う
(米は作業参加時間に応じて配分??)

【指標（KPI）案】

- ・会員数（≠バイオ田んぼ面積）
- ・田んぼの生物種数

「楽しい・美味しい・嬉しい」を中心に、いろんな人が関わり合いながら
中山間地域の自然や暮らしが豊かになるモデルづくり

✓会員数：35組（2025/10時点）
✓イベント参加人数：約150名
（2025/10時点）

【参考資料 1-3】 バイオ田んぼプロジェクト 講演資料（11/13）

今までの活動の様子 ○第1回 日：2025年4月12日 天気：晴れ 場所：ハウス増田田んぼ 参加者：14名 内容： ✓生きもの探しと観察 ✓セリとマコモの採り ✓バイオトープづくり（泥の盛り上げ） ✓タガメ屋敷の設置 ○第2回 日：2025年4月29日 天気：曇り 場所：自主田んぼの田んぼ 参加者：11名（スタッフ5名） 内容： ✓バイオトープづくり ✓生きもの探し ✓タケノコ掘り ○第3回 日：2025年5月3日 天気：晴れ 場所：田舎さんの田んぼ 参加者：16名（スタッフ5名） 内容： ✓田舎の田んぼへの土入れ作業 ✓生きもの探し ✓泥入れ ✓マコモ苗植え ✓ワタヒダり 今回もとても楽しい体験になりました。 子ども達がこんなに生き物好きだったの？と思うくらい生き物に夢中になっていたのびっくりしました。 思いがけない わらびが採れてめちゃくちゃ嬉しかったです(๑>๓<๑) いつも楽しい内容を考えていただき ありがとうございました(๑>๓<๑) 家に帰ってから 三男が 画用紙2枚分の絵を描いてました(˘ ˘) 子どもが自由に思う存分に遊べて、思った以上に喜んでました。ありがとうございます。	会員住所（市町村）  - 住用郡住用町 - 倉敷市 - 大田市 - 赤松市 - 姫路市 - 岡山市 - 文京区 - 東広島市 - 横浜市 - 真庭郡新庄村 - 神戸市 - 美作市 - 美田郡西草倉村 - 赤穂市
バイオ田んぼパーク パスポート (2026年～) バイオ田んぼという「場所」が価値を生む ✓快適性 ✓手ぶらで楽しめる ✓入り口 	バイオ田んぼパーク <役割場所> - 自由に遊べる、生きものだらけの田んぼや水路や川 - 野生の生きものを自然のフィールドで探して、観察えられる - 自分で採るワクワクやドキドキを味わえる <遊び方> - 手ぶらでも遊べるように餌やバケツ、BBOセット等の貸し出しがある - 道間は貸し出すが、遊び方は自由 <ターゲット> - 子供に自然体験をさせたい親 - 実物に触れたい、里山で遊んでみたい - BASEを離れた観光客（特に親子連れ） 思いつきり遊べる生きものだらけの田んぼ 自分で見つける楽しさや捕まえられる ドキドキ、ワクワク 
快適性は大事！ ☑トイレ隣接 ☑温水シャワー ☑着替え場所 	バイオ田んぼパーク ○目指す事業像：訪れる人が増えるほどに、自然が豊かになる ＝「未来の里山」 ★自然が荒れずに、さらに豊かになる仕組み ✓来場者は入場時に水路やバイオトープに石や粗朶を入れる（小さな自然再生） ✓来場者が見つけた生きものを写真にとって投稿 ⇒最新の生きもの情報を入口の掲示板でお知らせ？ みんなで作る「バイオ田んぼ生きもの図鑑」 市民参加型モニタリングとして調査にもデータを活用 楽しみながら自然を豊かにできる仕組みや仕掛けをつくれませんか？ 【指標（KPI）案】 - 来場者数（≠ 石や粗朶、木杭の数） - 田んぼの生物種数 

【参考資料 1-3】 バイオ田んぼプロジェクト 講演資料（12/13）

今までの活動の様子

○第1回
日：2025年4月12日
天気：晴れ
場所：ハウス増田田んぼ
参加者：14名
内容：
✓生きもの探しと観察
✓セリとマコモの採り
✓バイオトープづくり（泥の盛り上げ）
✓タケノコ採り

○第2回
日：2025年4月29日
天気：曇り
場所：自生田んぼの田んぼ
参加者：11名（スタッフ5名）
内容：
✓バイオトープづくり
✓生きもの探し
✓タケノコ採り

○第3回
日：2025年5月3日
天気：晴れ
場所：田んぼの田んぼ
参加者：16名（スタッフ5名）
内容：
✓田んぼの管理への準備作業
✓生きもの探し
✓泥盛り
✓マコモ採り
✓ワタヒダリ

今回もとても楽しい体験になりました。
子ども達がこんなに生き物好きだったのか？と思うくらい生き物に夢中になっていたのでびっくりしました。

思いがけない わらびが採れてめちゃくちゃ嬉しかったです(๑>๑<)
いつも楽しい内容を考えていただき ありがとうございます(๑>๑<)
家に帰ってから 三男が 画用紙2枚分の絵を描いてました(˘ ˘)

子どもが自由に思う存分に遊べて、思った以上に喜んでました。ありがとうございます。

会員住所（市町村）

● 佐用郡佐用町 ● 倉敷市 ● 大田市 ● 赤松市 ● 姫路市 ● 岡山市 ● 文京区
● 東広島市 ● 横浜市 ● 真庭郡新庄村 ● 神戸市 ● 美作市 ● 美田郡西瀬田村 ● 赤穂市

バイオ田んぼパークパスポート

(2026年～)

バイオ田んぼという「場所」が価値を生む

✓快適性
✓手ぶらで楽しめる
✓入り口

バイオ田んぼパーク

<役割分担>
・自由に遊ぶ。生きものだらけの田んぼや水路や川
・野生の生きものを自然のフィールドで探して、捕まえられる
・自分で採るワタヒダリやドキドキを味わえる

<遊び方>
・手ぶらでも遊べるように餌やバケツ、BBOセット等の貸し出しがある
・道間は貸し出すが、遊び方は自由

<ターゲット>
・子供に自然体験をさせたい親
・実際に触れたい、里山で遊んでみたい
・B&Eを促した観光客（特に親子連れ）

思いつきで遊ぶ生きものだらけの田んぼ
自分で見つける楽しさや捕まえられる
ドキドキ、ワクワク

快適性は大事！

☑ トイレ隣接
☑ 温水シャワー
☑ 着替え場所

バイオ田んぼパーク

○目指す事業像：訪れる人が増えるほどに、自然が豊かになる
＝「未来の里山」

★自然が荒れずに、さらに豊かになる仕組み
✓来場者は入場時に水路やバイオトープに石や粗朶を入れる（小さな自然再生）
✓来場者が見つけた生きものを写真にとって投稿

⇒最新の生きもの情報を入口の掲示板でお知らせ？
みんなで作る「バイオ田んぼ生きもの図鑑」
市民参加型モニタリングとして調査にもデータを活用

楽しみながら自然を豊かにできる仕組みや仕掛けをつくれませんか？

【指標（KPI）案】
・来場者数（≠ 石や粗朶、木杭の数）
・田んぼの生物種数

【参考資料 1-3】 バイオ田んぼプロジェクト 講演資料 (13/13)

【構想中】バイオ田んぼネットワーク

ぜひ、今後連携させていただければ嬉しいです！

佐渡や豊阿、滋賀等において、農地や里地における生物多様性保全の知見は蓄積。

- ・自然環境や地域の背景は多種多様
⇒全国一律のやり方では難しいが、地域によってはそのまま適用できる？
- ・一方で高齢化、担い手不足など類似の課題も多い

実践地域がゆるくつながりながら、ネットワーク化

- ✓技術や知見の共有
⇒ 全国への展開スピードUP
- ✓相談
- ✓サービスの連携
(お米の詰め合わせ・体験受け入れ...)

各地の類似の取組のネットワーク化
(知見共有・集積ができるプラットフォーム)

STEP2
関係人口による農地維持活動の広がり
(参加型農家のサポートへ)
周辺地域へ放射拡大



ご当地
バイオ田んぼ

STEP1
田んぼが身近な場所に！
同じ目的を持つ仲間（実践者）
のコミュニティ
⇒関係人口増加と実践者育成



共創が生まれる
「リビングラボ」として

バイオ田んぼプロジェクトToC試行版

登山の滞在価値を引き出し、分かちあう仕組みづくりで社会を豊かにする。

イシュー	事業対象	事業活動	アウトカム （短期・中長期）	アウトカム （長期・持続的）	ビジョン
登山者 ・登山者への価値提供 ・登山者への価値提供 ・登山者への価値提供	登山者 ・登山者への価値提供 ・登山者への価値提供 ・登山者への価値提供	登山者 ・登山者への価値提供 ・登山者への価値提供 ・登山者への価値提供	登山者 ・登山者への価値提供 ・登山者への価値提供 ・登山者への価値提供	登山者 ・登山者への価値提供 ・登山者への価値提供 ・登山者への価値提供	登山者 ・登山者への価値提供 ・登山者への価値提供 ・登山者への価値提供
登山者 ・登山者への価値提供 ・登山者への価値提供 ・登山者への価値提供	登山者 ・登山者への価値提供 ・登山者への価値提供 ・登山者への価値提供	登山者 ・登山者への価値提供 ・登山者への価値提供 ・登山者への価値提供	登山者 ・登山者への価値提供 ・登山者への価値提供 ・登山者への価値提供	登山者 ・登山者への価値提供 ・登山者への価値提供 ・登山者への価値提供	登山者 ・登山者への価値提供 ・登山者への価値提供 ・登山者への価値提供

【参考資料 1-4】 植物群落の視点からみた湿地ビオトープ 講演資料 (1/4)



1. 植物群落の視点からみた湿地ビオトープ
2. 在来種を用いたフラワーツーリズムの事例

いであ株式会社 鈴木敏弘

2 植物種と植物群落



植物種

植物群落(群集)

- ✓ 同じ環境、同じ立地条件がつづき限りいつても同じよう出現する種の組み合わせ
- ✓ 日本全国の様々な立地で植生調査の積み重ねにより植物群落を決定

3 植物群落の成立要因

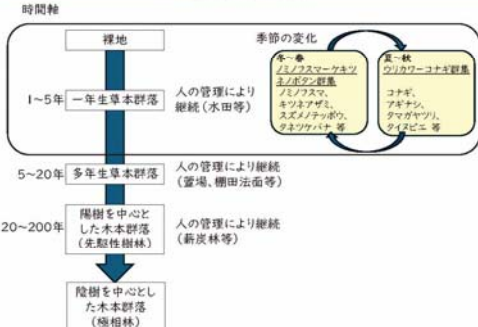
■植物群落の成立要因

1. 気候的要因：気温、降水量、風、日照 等
2. 地形的要因：土地の傾斜角度・方向、山地・平野、尾根・谷 等
3. 土地的要因：地質、土質、水分、栄養分、pH 等
4. 生物的要因：動物、植物相互の影響 ※外来種を含む
5. 人為的要因：森林伐採、火入れ、草刈り、耕作、土地造成、河川整備、踏みつけ 等



4 植物群落の遷移

時間軸



5 熱塩加納 鷺田ビオトープ

植物種の視点

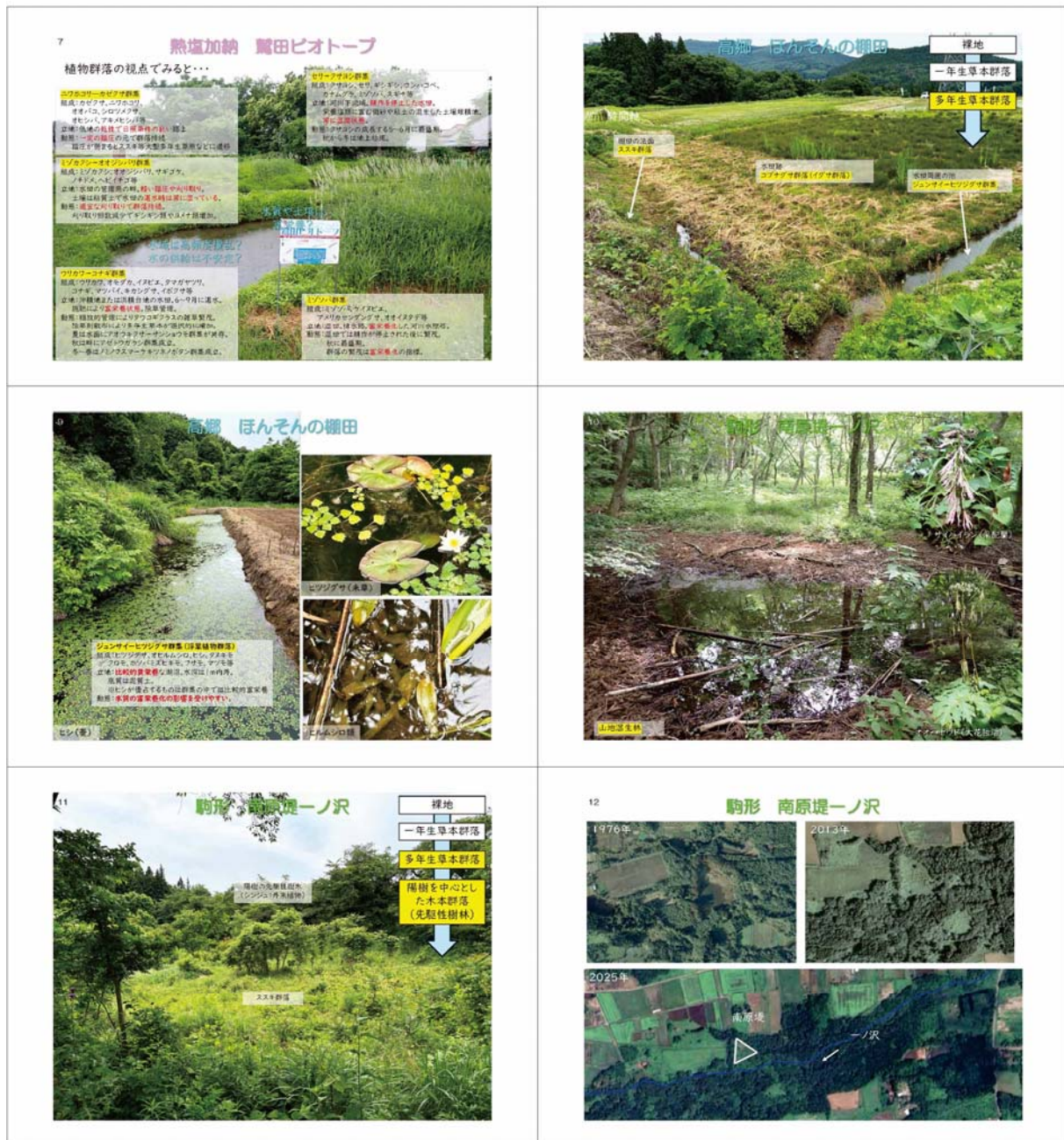


6 熱塩加納 鷺田ビオトープ

植物群落の視点でみると...



【参考資料 1-4】 植物群落の視点からみた湿地ビオトープ 講演資料 (2/4)



【参考資料 1-4】 植物群落の視点からみた湿地ビオトープ 講演資料 (3/4)

13 地域特有の在来植生を用いたフラワーツーリズム

フラワーツーリズム
 ✓ 季節の花を見に出かける行楽
 ✓ 花の魅力を活用して観光振興や地域活性化を図る取り組み

地域特有の在来植生を用いたフラワーツーリズム

➢ 気候・地形・地質、人の営み(歴史・文化)により応じて地域ごとに成立している植生を活かす
 ➢ 象徴となる種と生物多様性



参考文献
 文献1 大澤忠志・細田・段加部地のフジツボ生育地の植生及びその開花履歴を用いた地域活性化活動に関する研究、福岡学芸大学誌24,9-25,2023
 文献2 高安の茅場が残る種鳥島南会津町高津水自然公園ひめやうり群生地の植物相と植生、福島大学地域創造、第24巻1号,81-102,2017

14 在来植生を用いたフラワーツーリズムの事例1
 ～埼玉県 小鹿野町 早春 セツブンソウ～

セツブンソウの生育条件に適した立地に群生、秋父等の母岩泥岩層、斜面から崩落した岩石が堆積して礫質になっており、濃広葉樹林、北向き斜面、潤滑で湿った土壌



15 在来植生を用いたフラワーツーリズムの事例2
 ～埼玉県 さいたま市 保全が行われているオギ原の春 サクラソウ～

オギ原の花



16 在来植生を用いたフラワーツーリズムの事例2
 ～神奈川県 相模原市 保全が行われている磯河原の秋 カワノギク～

カワノギク(河原野菊)



17 在来植生を用いたフラワーツーリズムの事例3
 ～新潟県 新潟市 保全・活用が行われている“里湯”の初夏～

水辺植物を中心に絶滅危惧種が多数生育する、又の名花地帯



18 在来植生を用いたフラワーツーリズムの事例4
 ～東京都 町田市 保全・再生が行われている谷戸の春～

谷戸の春



【参考資料 1-4】 植物群落の視点からみた湿地ビオトープ 講演資料 (4/4)



参考資料 2－参加者募集チラシ（表面）





公益財団法人
リバーフロント研究所



Collaborative Nature Restoration
水辺の小さな自然再生

Presents
福島県内初!

第32回 「小さな自然再生」

現地研修会ⁱⁿ 福島県喜多方市熱塩加納
～地域活性化に向けた水辺の生物多様性向上の取組～



2026年7月11日(土)

8:30～17:00 下記①～④のお好きなプログラムにご参加ください!

※①からご参加の方は8:30までに鷺田ビオトープ隣の
鷺田多目的集会センターで受付をお済ませください。
→ 熱塩加納町加納字村前77

雨天催行
(in鷺田センター)

プログラム

- ① 鷺田^{あしだ}ビオトープで生きもの調査 8:30～ 9:15
- ② 鷺田多目的集会センターで座学 9:30～11:45
「生物多様性で地域を盛り上げる」
「ビオトープの村づくり」他
- ③ 高郷^{たかさと}ほんそんの棚田^{ななみほらづつ}ビオトープ 13:30～14:15
- ④ 駒形^{こまがた}の南原^{みなはら}堤でビオトープ計画 15:00～16:00

最後に鷺田に戻り、振り返りを行い17時頃終了予定です。

定員70名。「②と③参加」のように①～④のいずれにもご参加いただけます。
マイクロバス移動は20名定員で締切りますQR・メールでお申込みください。
各会場のみのご参加の場合は、ご自身で各会場までいらしてください。
いずれも、長袖・長ズボン、長靴、帽子、手袋、飲料などをお持ちください。
必要に応じて昼食もご用意ください。②～③～④の移動時間は約40分です。

参加費無料

講師紹介
 西山 穂：(株)ナツナヘルラントシャフト代表 近自然工法、森・川づくり、ビオトープ
 太刀川 晴之：(株)エーゼログループ 研究員 CSA、水田ビオトープによる地域おこし
 鈴木 敏弘：(株)いであ 主席 植物、自然環境の評価、環境管理

詳細・地図 <https://ak.nowdo.com/0711/>





mirai@nowdo.com お申込み



主催：熱塩加納未来会議
公益財団法人リバーフロント研究所
「小さな自然再生」研究会

共催：高郷ほんそん未来プロジェクト
こまがた元気会(雄国山麓ゆめクラブ)
協賛：荒川産業「故紙コンテナパーク基金」
後援：喜多方市／福島民友新聞社

参考資料 2－参加者募集チラシ（裏面）





公益財団法人
リバーフロント研究所



Collaborative Nature Restoration
水辺の小さな自然再生

第32回「小さな自然再生」現地研修会 in 福島県喜多方市熱塩加納

～地域活性化に向けた水辺の生物多様性向上の取組～



オオルリボシヤンマ



大型トンボ飛行中
クロスジギンヤンマ



ギンヤンマ

参加無料



絶滅危惧II類 (VU)
マルガタゲンゴロウ

「小さな自然再生」
特設サイト

<https://ak.nowdo.com/0711/>



参加無料



準絶滅危惧 (NT)
全長4cm ガムシ

熱塩加納 鷺田ビオトープ

高郷 ほんそんの棚田
駒形 南原堤 一ノ沢



ほんそんの棚田ビオトープ



駒形・南原堤



鷺田ビオトープ

2022年熱塩加納鷺田の陸地化遊休田をビオトープ化、山形県境に近い熱塩加納の飯森山(1595m)が水源の平成の名水百選「桐峰溪流水」の水を流し入れ、今では絶滅の恐れのあるたくさんの昆虫などが観察できます。2025年には高郷ほんそんの棚田、2026年には駒形でもビオトープの計画・造成が始まりました。私たちは、豊かな自然を守る生物多様性の村を目指しています。



あつしおかのう
熱塩加納 鷺田ビオトープ
(鷺田多目的集会センター)

マルガタゲンゴロウ (VU)
クロゲンゴロウ (NT)
ヒメゲンゴロウ (NT)
コシマゲンゴロウ
ガムシ (NT)
オオルリボシヤンマ
クロスジギンヤンマ
ショウジョウトンボ
ミヤマアカネ
オオシオカラトンボ
オゼイトトンボ
オオイトトンボ
キイトンボ
ルリシジミ
ツバメシジミ
オナガミズアオ (NT)

<https://ak.nowdo.com/0711/>
詳細・地図

主催：熱塩加納未来会議
公益財団法人リバーフロント研究所
「小さな自然再生」研究会

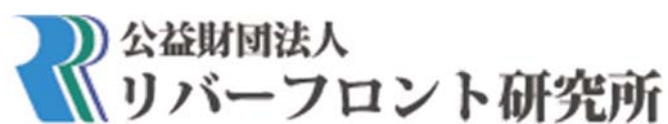
共催：高郷ほんそん未来プロジェクト
こまがた元気会(雄国山麓ゆめクラブ)
協賛：荒川産業「故紙コンテナパーク基金」
後援：喜多方市／福島民友新聞社

熱塩加納未来会議 〒966-0103 喜多方市熱塩加納町加納字村前田甲3576-1 ☎090-3543-1496



mirai@nowdo.com
お申込み





「小さな自然再生」現地研修会（第32回）開催報告

～ 2026年7月11日（土）福島県喜多方市・熱塩加納 ～

2026年10月2日

【発行】

公益財団法人リバーフロント研究所

〒104-0033 東京都中央区新川1丁目17番24号 NMF茅場町ビル7階

電話:03-6228-3861 Fax: 03-3523-0640

URL: <https://www.rfc.or.jp/>

X: https://x.com/RFC_JAPAN